



API リファレンス

# AWS Snowball Edge



# AWS Snowball Edge: API リファレンス

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していない他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物であり、Amazon と提携、接続、または後援されている場合とされていない場合があります。

# Table of Contents

ジョブ管理 API .....	1
API エンドポイント .....	2
API バージョン .....	2
API アクセス許可ポリシーリファレンス .....	3
Snowball と Snowball Edge のIAMロールの作成 .....	6
アクション .....	9
AWS Snowball Edge .....	10
CancelCluster .....	12
CancelJob .....	14
CreateAddress .....	16
CreateCluster .....	19
CreateJob .....	29
CreateLongTermPricing .....	41
CreateReturnShippingLabel .....	44
DescribeAddress .....	47
DescribeAddresses .....	50
DescribeCluster .....	53
DescribeJob .....	57
DescribeReturnShippingLabel .....	65
GetJobManifest .....	68
GetJobUnlockCode .....	71
GetSnowballUsage .....	74
GetSoftwareUpdates .....	76
ListClusterJobs .....	79
ListClusters .....	83
ListCompatibleImages .....	86
ListJobs .....	89
ListLongTermPricing .....	92
ListPickupLocations .....	95
ListServiceVersions .....	99
UpdateCluster .....	103
UpdateJob .....	109
UpdateJobShipmentState .....	116
UpdateLongTermPricing .....	119

AWS Snowball Edge Device Management .....	121
CancelTask .....	122
CreateTask .....	125
DescribeDevice .....	129
DescribeDeviceEc2Instances .....	134
DescribeExecution .....	138
DescribeTask .....	142
ListDeviceResources .....	146
ListDevices .....	150
ListExecutions .....	153
ListTagsForResource .....	157
ListTasks .....	160
TagResource .....	163
UntagResource .....	166
データ型 .....	168
AWS Snowball Edge .....	169
Address .....	172
ClusterListEntry .....	177
ClusterMetadata .....	179
CompatibleImage .....	184
DataTransfer .....	186
DependentService .....	188
DeviceConfiguration .....	189
Ec2AmiResource .....	190
EKSONDeviceServiceConfiguration .....	192
EventTriggerDefinition .....	193
INDTaxDocuments .....	194
JobListEntry .....	195
JobLogs .....	198
JobMetadata .....	200
JobResource .....	207
KeyRange .....	208
LambdaResource .....	210
LongTermPricingListEntry .....	211
NFSONDeviceServiceConfiguration .....	214
Notification .....	215

OnDeviceServiceConfiguration .....	217
PickupDetails .....	219
S3OnDeviceServiceConfiguration .....	222
S3Resource .....	224
ServiceVersion .....	226
Shipment .....	227
ShippingDetails .....	229
SnowconeDeviceConfiguration .....	231
TargetOnDeviceService .....	232
TaxDocuments .....	233
TGWOnDeviceServiceConfiguration .....	234
WirelessConnection .....	235
AWS Snowball Edge Device Management .....	235
Capacity .....	237
Command .....	239
CpuOptions .....	240
DeviceSummary .....	241
EbsInstanceBlockDevice .....	243
ExecutionSummary .....	245
Instance .....	247
InstanceBlockDeviceMapping .....	250
InstanceState .....	251
InstanceSummary .....	253
PhysicalNetworkInterface .....	254
Reboot .....	256
ResourceSummary .....	257
SecurityGroupIdentifier .....	258
SoftwareInformation .....	259
TaskSummary .....	260
Unlock .....	262
共通パラメータ .....	263
共通エラー .....	266
.....	cclxviii

# ジョブ管理APIリファレンス

API のジョブ管理 AWS Snowball Edge は、HTTP (RFC 2616) に基づくネットワークプロトコルです。このの詳細についてはRFC、IETFウェブサイトの [HTTP \(RFC 2616\)](#) を参照してください。ジョブ管理 を呼び出すたびにAPI、ジョブを管理する AWS リージョン のリージョン固有のジョブ管理APIエンドポイントにHTTPリクエストを行います。は、HTTPリクエスト/レスポンス本文にJSON (RFC 4627) ドキュメントAPIを使用します。

## Note

API ジョブの一覧表示またはアドレスの説明のために米国リージョン内で行われた呼び出しは、そのアカウントの米国内のすべてのジョブまたはアドレスを返します。

Snowball APIのジョブ管理はRPCモデルです。このモデルでは、オペレーションの固定のセットがあり、各オペレーションの構文は、事前に操作しなくてもクライアントに知られています。次に、抽象RPC表記を使用して各APIオペレーションの説明と、ワイヤに表示されないオペレーション名を示します。トピックでは、オペレーションごとにHTTP、リクエスト要素のマッピングを指定します。

特定のリクエストがマッピングされる特定のジョブ管理オペレーションは、リクエストのメソッド (GET、PUT、POST、または DELETE) と、そのリクエストがURI一致するさまざまなパターンの組み合わせによって決まります。オペレーションが PUTまたは の場合POST、Snowball はリクエストパスURIセグメント、クエリパラメータ、およびリクエスト本文内のJSONオブジェクトから呼び出し引数を抽出します。

などのオペレーション名CreateJobはワイヤに表示されませんが、これらのオペレーション名はAWS Identity and Access Management ( IAM) ポリシーで意味があります。オペレーション名は、コマンドラインツールおよび の要素でコマンドに AWS SDK名前を付けるためにも使用されます APIs。例えば、AWS Command Line Interface ( AWS CLI) コマンドは CreateJobオペレーションにcreate-jobマッピングされます。オペレーション名は Snowball APIコールの CloudTrail ログにも表示されます。

AWS CLI 呼び出し先のリージョンの指定など AWS CLI、 のインストールと設定の詳細については、 [AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#) を参照してください。

### Note

ジョブ管理APIは、[AWS Snowball マネジメントコンソール](#) で使用可能なのと同じ機能、つまり Snowball のジョブを作成および管理するためのプログラムインターフェイスを提供します。Snowball アプライアンスを使用してデータをローカルに転送するには、Snowball Edge Client または Snowball 用 S3 SDK Adapter を使用します。詳細については、『AWS Snowball ユーザーガイド』の「[Snowball を使ったデータ転送](#)」を参照してください。Snowball Edge を使用する場合は、Snowball Edge クライアントを使用してアプライアンスのロックを解除します。詳細については、『AWS Snowball 開発者ガイド』の「[Snowball クライアントの使用](#)」を参照してください。

## API エンドポイント

API エンドポイントは、API 通話 HTTP URI のホストとして使用されるドメインネームサービス (DNS) 名です。これらの API エンドポイントはリージョン固有であり、次の形式をとります。

```
snowball.aws-region.amazonaws.com
```

例えば、米国西部 (オレゴン) リージョンの Snowball API エンドポイントは次のとおりです。

```
snowball.us-west-2.amazonaws.com
```

Snowball がサポートする AWS リージョン (ジョブを作成および管理できる) のリストについては、[AWS Import/Export](#) の「 」を参照してください。AWS 全般のリファレンス。

リージョン固有の API エンドポイントは、API 呼び出し時にアクセス可能な Snowball リソースの範囲を定義します。たとえば、前述のエンドポイントを使用して ListJobs オペレーションを呼び出す際、アカウントで作成された米国西部 (オレゴン) リージョン内のジョブのリストを取得します。

## API バージョン

呼び出し API に使用されるバージョンは、リクエストの最初のパスセグメントによって識別される URI、その形式は 8601 ISO 日付です。このドキュメントでは、API バージョン 2016-06-30 について説明します。

# API アクセス許可ポリシーリファレンス

API Snowball のジョブ管理でジョブを作成するには、次のポリシーが必要です。

## ジョブを作成するためのロールの信頼ポリシー

ジョブ管理を使用してジョブAPIを作成するには、次の信頼ポリシーが必要です。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "importexport.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sts:AssumeRole",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "sts:ExternalId": "AWSIE"
        }
      }
    }
  ]
}
```

### Note

信頼ポリシーの詳細については、IAM「[ユーザーガイド](#)」の「[ロールの変更](#)」を参照してください。

## インポートジョブを作成するためのロールポリシー

インポートジョブを作成するには、以下のロールポリシーが必要です。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
```

```
    "Action": [
      "s3:GetBucketLocation",
      "s3:ListBucketMultipartUploads"
    ],
    "Resource": "arn:aws:s3:::*"
  },
  {
    "Effect": "Allow",
    "Action": [
      "s3:GetBucketPolicy",
      "s3:PutObject",
      "s3:AbortMultipartUpload",
      "s3:ListMultipartUploadParts",
      "s3:PutObjectAcl"
    ],
    "Resource": "arn:aws:s3:::*"
  },
  {
    "Effect": "Allow",
    "Action": [
      "snowball:*"
    ],
    "Resource": [
      "*"
    ]
  }
]
```

エクスポートジョブを作成するためのロールポリシー

エクスポートジョブを作成するには、以下のロールポリシーが必要です。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "s3:GetBucketLocation",
        "s3:GetObject",
        "s3:ListBucket"
      ],
      "Resource": "arn:aws:s3:::*"
    }
  ]
}
```

```

    },
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "snowball:*"
      ],
      "Resource": [
        "*"
      ]
    }
  ]
}

```

### ジョブ作成のための Amazon S3 バケットポリシープリンシパル

Snowball と使用する Amazon S3 バケットに、想定するロールのロールセッション名の一覧化を求めるバケットポリシーがある場合があります。AWSImportExport-Validation を特定するポリシーでプリンシパルを指定する必要があります。次の Amazon S3 バケットポリシーはその方法の例を示しています。

#### Example

```

{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": {
    "Sid": "Allow AWS Snowball To Create Jobs",
    "Effect": "Deny",
    "NotPrincipal": {
      "AWS": [
        "arn:aws:iam::111122223333:role/rolename",
        "arn:aws:sts::111122223333:assumed-role/rolename/AWSImportExport-Validation",
        "arn:aws:iam::111122223333:root"
      ]
    }
  },
  "Action": "S3:*",
  "Resource": ["arn:aws:s3:::examplebucket/*"]
}

```

このポリシーの例では、NotPrincipal エlement 内で指定されているプリンシパルを除くすべてのプリンシパルによるアクセスを拒否します。の使用方法の詳細についてはNotPrincipal、「ユーザーガイド [NotPrincipal](#)」の「」を参照してください。IAM

**Note**

のジョブの場合 AWS GovCloud (US)、Snowball は引き受けたロールのロールセッション名AWSIEJobとして を使用します。

## Snowball と Snowball Edge のIAMロールの作成

IAM ロールポリシーは、Amazon S3 バケットの読み取りおよび書き込みアクセス許可で作成する必要があります。また、IAMロールは Snowball と信頼関係を持っている必要があります。信頼関係を持つことは、データのインポートまたはエクスポートのどちらを行うかに応じて、 が Snowball と Amazon S3 バケットにデータを書き込む AWS ことができることを意味します。

でジョブを作成する場合 AWS Snow ファミリーマネジメントコンソール、必要なIAMロールの作成は、アクセス許可セクションのステップ 4 で行われます。これは自動プロセスです。Snowball が引き受けることを許可するIAMロールは、転送されたデータを持つ Snowball が に到着した場合にのみ、バケットにデータを書き込むために使用されます AWS。このプロセスを以下の手順で示します。

インポートジョブのIAMロールを作成するには

1. にサインイン AWS マネジメントコンソールし、 で AWS Snowball Edge コンソールを開きます <https://console.aws.amazon.com/importexport/>。
2. [ジョブの作成]を選択します。
3. 最初のステップで、Amazon S3 へのインポートジョブの詳細を入力してから、[Next (次へ)] を選択します。
4. 2 番目のステップで、アクセス許可 でロールの作成/選択 IAM を選択します。

IAM マネジメントコンソールが開き、 が AWS オブジェクトを指定した Amazon S3 バケットにコピーするIAMロールが表示されます。

5. このページで詳細を確認し、[許可] を選択します。

に戻ります。ここで AWS Snow ファミリーマネジメントコンソール、選択したIAMロール ARNには、作成したIAMロールの Amazon リソースネーム (ARN) が含まれます。

6. 次へ を選択して、IAMロールの作成を完了します。

前述の手順では、データをインポートする予定の Amazon S3 バケットの書き込みアクセス許可を持つ IAM ロールを作成します。作成される IAM ロールは、インポートジョブかエクスポートジョブかに応じて、次のいずれかの構造を持ちます。

### IAM インポートジョブのロール

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "s3:GetBucketLocation",
        "s3:ListBucketMultipartUploads"
      ],
      "Resource": "arn:aws:s3:::*"
    },
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "s3:GetBucketPolicy",
        "s3:PutObject",
        "s3:AbortMultipartUpload",
        "s3:ListMultipartUploadParts",
        "s3:PutObjectAcl"
      ],
      "Resource": "arn:aws:s3:::*"
    }
  ]
}
```

マネージドキー (SSE-KMS) AWS KMS でサーバー側の暗号化を使用してインポートジョブに関連付けられた Amazon S3 バケットを暗号化する場合は、IAM ロールに次のステートメントを追加する必要があります。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Action": [
    "kms:GenerateDataKey"
  ],
  "Resource": "arn:aws:s3:::SSEKMSEncryptedBucketName"
}
```

```
}
```

## IAM エクスポートジョブのロール

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "s3:GetBucketLocation",
        "s3:GetBucketPolicy",
        "s3:GetObject",
        "s3:ListBucket"
      ],
      "Resource": "arn:aws:s3:::*"
    }
  ]
}
```

AWS KMS マネージドキーでサーバー側の暗号化を使用してエクスポートジョブに関連付けられた Amazon S3 バケットを暗号化する場合は、次のステートメントを IAM ロールに追加する必要があります。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Action": [
    "kms:Decrypt"
  ],
  "Resource": "arn:aws:s3::SSEKMSEncryptedBucketName"
}
```

# アクション

AWS Snowball Edge によって以下のアクションがサポートされています。

- [CancelCluster](#)
- [CancelJob](#)
- [CreateAddress](#)
- [CreateCluster](#)
- [CreateJob](#)
- [CreateLongTermPricing](#)
- [CreateReturnShippingLabel](#)
- [DescribeAddress](#)
- [DescribeAddresses](#)
- [DescribeCluster](#)
- [DescribeJob](#)
- [DescribeReturnShippingLabel](#)
- [GetJobManifest](#)
- [GetJobUnlockCode](#)
- [GetSnowballUsage](#)
- [GetSoftwareUpdates](#)
- [ListClusterJobs](#)
- [ListClusters](#)
- [ListCompatibleImages](#)
- [ListJobs](#)
- [ListLongTermPricing](#)
- [ListPickupLocations](#)
- [ListServiceVersions](#)
- [UpdateCluster](#)
- [UpdateJob](#)
- [UpdateJobShipmentState](#)
- [UpdateLongTermPricing](#)

AWS Snowball Edge Device Management によって以下のアクションがサポートされています。

- [CancelTask](#)
- [CreateTask](#)
- [DescribeDevice](#)
- [DescribeDeviceEc2Instances](#)
- [DescribeExecution](#)
- [DescribeTask](#)
- [ListDeviceResources](#)
- [ListDevices](#)
- [ListExecutions](#)
- [ListTagsForResource](#)
- [ListTasks](#)
- [TagResource](#)
- [UntagResource](#)

## AWS Snowball Edge

AWS Snowball Edge によって以下のアクションがサポートされています。

- [CancelCluster](#)
- [CancelJob](#)
- [CreateAddress](#)
- [CreateCluster](#)
- [CreateJob](#)
- [CreateLongTermPricing](#)
- [CreateReturnShippingLabel](#)
- [DescribeAddress](#)
- [DescribeAddresses](#)
- [DescribeCluster](#)
- [DescribeJob](#)
- [DescribeReturnShippingLabel](#)

- [GetJobManifest](#)
- [GetJobUnlockCode](#)
- [GetSnowballUsage](#)
- [GetSoftwareUpdates](#)
- [ListClusterJobs](#)
- [ListClusters](#)
- [ListCompatibleImages](#)
- [ListJobs](#)
- [ListLongTermPricing](#)
- [ListPickupLocations](#)
- [ListServiceVersions](#)
- [UpdateCluster](#)
- [UpdateJob](#)
- [UpdateJobShipmentState](#)
- [UpdateLongTermPricing](#)

## CancelCluster

サービス : AWS Snowball Edge

クラスタージョブをキャンセルします。AwaitingQuorum ステータスのクラスタージョブのみをキャンセルできます。クラスタージョブを作成してから少なくとも 1 時間は、そのクラスタージョブをキャンセルできます。

### リクエストの構文

```
{  
  "ClusterId": "string"  
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### ClusterId

キャンセルするクラスタの 39 文字の ID。たとえば CID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000 など。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: CID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須 : はい

### レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは空のHTTP本文で 200 HTTP レスポンスを送り返します。

### エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

## InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

## KMSRequestFailedException

指定された AWS Key Management Service キーには、指定された [CreateJob](#) または [UpdateJob](#) アクションを実行するアクセス許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## CancelJob

サービス : AWS Snowball Edge

指定されたジョブをキャンセルします。JobState 値が PreparingAppliance に変わる前のジョブのみをキャンセルできます。ListJobs または DescribeJob のアクションをリクエストすると、ジョブの JobState がレスポンス要素データの一部として返されます。

### リクエストの構文

```
{  
  "JobId": "string"  
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### JobId

キャンセルするジョブの 39 文字のジョブ ID。たとえば JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000 など。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須 : はい

### レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは空のHTTP本文で 200 HTTP レスポンスを返します。

### エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

## InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

## KMSRequestFailedException

指定された AWS Key Management Service キーには、指定された [CreateJob](#) または [UpdateJob](#) アクションを実行するアクセス許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## CreateAddress

サービス : AWS Snowball Edge

Snow デバイスの発送先となる住所を作成します。住所は、作成時に検証されます。指定する住所は、お住まいのリージョンのサービスエリア内に存在する必要があります。住所が無効またはサポートされていない場合は、例外がスローされます。cli-input-json オプションを使用してアドレスをJSONファイルとして指定する場合は、ファイルパス全体を含めます。例えば、--cli-input-json file://create-address.json と指定します。

### リクエストの構文

```
{
  "Address": {
    "AddressId": "string",
    "City": "string",
    "Company": "string",
    "Country": "string",
    "IsRestricted": boolean,
    "Landmark": "string",
    "Name": "string",
    "PhoneNumber": "string",
    "PostalCode": "string",
    "PrefectureOrDistrict": "string",
    "StateOrProvince": "string",
    "Street1": "string",
    "Street2": "string",
    "Street3": "string",
    "Type": "string"
  }
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### Address

Snow デバイスの送付先住所。

型: [Address](#) オブジェクト

必須: はい

## レスポンスの構文

```
{  
  "AddressId": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### [AddressId](#)

特定の住所に対して自動生成された ID です。この ID は、ジョブを作成する際、そのジョブの Snow デバイスを出荷する住所を指定するために使用します。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidAddressException

指定された住所は無効でした。お住まいのリージョンの配送業者に住所をチェックして、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

## UnsupportedAddressException

住所がお住まいのリージョンのサービス可能エリアの外にあるか、エラーが発生しました。お住まいのリージョンの配送業者に住所をチェックして、もう一度お試しください。問題が解決しない場合は、[お問い合わせ](#)してください サポート。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ の場合](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## CreateCluster

サービス : AWS Snowball Edge

空のクラスターを作成します。各クラスターは 5 つのノードをサポートしています。これらのノードごとにジョブを作成するために、個別に [CreateJob](#) アクションを実行します。クラスターは、これらの 5 つのノードジョブが作成されるまで出荷されません。

### リクエストの構文

```
{
  "AddressId": "string",
  "Description": "string",
  "ForceCreateJobs": boolean,
  "ForwardingAddressId": "string",
  "InitialClusterSize": number,
  "JobType": "string",
  "KmsKeyARN": "string",
  "LongTermPricingIds": [ "string" ],
  "Notification": {
    "DevicePickupSnsTopicARN": "string",
    "JobStatesToNotify": [ "string" ],
    "NotifyAll": boolean,
    "SnsTopicARN": "string"
  },
  "OnDeviceServiceConfiguration": {
    "EKSONDeviceService": {
      "EKSAnywhereVersion": "string",
      "KubernetesVersion": "string"
    },
    "NFSOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "S3OnDeviceService": {
      "FaultTolerance": number,
      "ServiceSize": number,
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "TGWOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    }
  }
}
```

```
},
"RemoteManagement": "string",
"Resources": {
  "Ec2AmiResources": [
    {
      "AmiId": "string",
      "SnowballAmiId": "string"
    }
  ],
  "LambdaResources": [
    {
      "EventTriggers": [
        {
          "EventResourceARN": "string"
        }
      ],
      "LambdaArn": "string"
    }
  ],
  "S3Resources": [
    {
      "BucketArn": "string",
      "KeyRange": {
        "BeginMarker": "string",
        "EndMarker": "string"
      },
      "TargetOnDeviceServices": [
        {
          "ServiceName": "string",
          "TransferOption": "string"
        }
      ]
    }
  ]
},
"RoleARN": "string",
"ShippingOption": "string",
"SnowballCapacityPreference": "string",
"SnowballType": "string",
"TaxDocuments": {
  "IND": {
    "GSTIN": "string"
  }
}
}
```

```
}
```

## リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

### AddressId

クラスターの送付先住所の ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

Pattern: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: はい

### Description

この特定のクラスターの説明 (任意)。たとえば Environmental Data Cluster-01 など。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### ForceCreateJobs

ユーザーがクラスターをオーバースプロビジョニングまたはアンダースプロビジョニングしようとしたときに、クラスターを強制的に作成します。クラスターの初期サイズが、OnDeviceServiceConfiguration で指定された容量要件を満たすために必要なサイズよりも大きい (オーバースプロビジョニング) か、小さい (アンダースプロビジョニング) 場合、クラスターはオーバースプロビジョニングまたはアンダースプロビジョニングされます。

型: ブール値

必須: いいえ

## ForwardingAddressId

このフィールドは、お住まいのリージョンではサポートされていません。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

## InitialClusterSize

指定した場合、各ジョブは自動的に作成され、新しいクラスターに関連付けられます。指定しない場合は 0 として扱われます。

型: 整数

有効な範囲: 最小値 は 0 です。最大値は 16 です。

必須 : いいえ

## JobType

このクラスターのジョブのタイプ。現在、クラスターでサポートされているジョブタイプは、LOCAL\_USE のみです。

Snow ファミリーデバイスの種類については、Snowcone ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)またはSnowball Edge ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)を参照してください。

型: 文字列

有効な値: IMPORT | EXPORT | LOCAL\_USE

必須 : はい

## KmsKeyARN

このクラスターに関連付けるKmsKeyARN値。KmsKeyARN値は AWS Key Management Service () の [CreateKey](#)APIアクションを使用して作成されますAWS KMS。

型: 文字列

長さの制限：最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:kms:.*:[0-9]{12}:key/.*`

必須: いいえ

### LongTermPricingIds

新しいクラスター用に自動的に作成されたジョブに関連付けるために使用される長期価格 ID を一覧表示します。

型: 文字列の配列

長さの制限: 固定長は 41 です。

パターン: `LTPID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}`

必須: いいえ

### Notification

このクラスターの Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) 通知設定。

型: [Notification](#) オブジェクト

必須: いいえ

### OnDeviceServiceConfiguration

転送されたデータをエクスポートまたはインポートする Snow Family デバイスのサービスを指定します。AWS Snow Family デバイスクラスターは Amazon S3 と NFS (ネットワークファイルシステム) をサポートしています。

型: [OnDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

### RemoteManagement

クラスター内の Snow デバイスを内部ネットワークの外部からリモートで安全に運用および管理できます。INSTALLED\_AUTOSTART に設定した場合は、デバイスがお客様の場所に到着すると、リモート管理が自動的に利用できるようになります。それ以外の場合は、Snowball Client を使用してデバイスを管理する必要があります。

型: 文字列

有効な値: INSTALLED\_ONLY | INSTALLED\_AUTOSTART | NOT\_INSTALLED

必須: いいえ

## Resources

クラスタージョブに関連付けられているリソース。これらのリソースには、Amazon S3 バケットと Python 言語で記述されたオプションの AWS Lambda 関数が含まれます。

型: [JobResource](#) オブジェクト

必須: いいえ

## RoleARN

このクラスターRoleARNに関連付ける。RoleArn値は AWS Identity and Access Management (IAM) の [CreateRole](#) API アクションを使用して作成されますIAM。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:iam::[0-9]{12}:role/.*`

必須: いいえ

## ShippingOption

このクラスターの各ノードの配送速度。この速度は、各 Snowball Edge デバイスをどれくらい早く入手できるかではなく、転送中に各デバイスが目的地に移動する速さを表します。リージョンの配送速度は次のとおりです。

- オーストラリアでは、至急便を利用できます。通常、至急便で発送された Snow デバイスは約 1 日で配送されます。
- 欧州連合 (EU) では、至急便を利用できます。通常、至急便で発送された Snow デバイスは約 1 日で配送されます。また、EU のほとんどの国で通常便も利用できます。こちらは通常片道 1 週間以内です。
- インドでは、Snow デバイスが 1~7 日で配送されます。
- アメリカ合衆国 (米国) では、翌日配送と翌々日配送を利用できます。
- オーストラリアでは、至急便を利用できます。通常、至急便で発送されたデバイスは約 1 日で配送されます。

- 欧州連合 (EU) では、至急便を利用できます。通常、至急便で発送された Snow デバイスは約 1 日で配送されます。また、EU のほとんどの国で通常便も利用できます。こちらは通常片道 1 週間以内です。
- インドでは、Snow デバイスが 1~7 日で配送されます。
- 米国では、翌日配送と 翌々日配送を利用できます。

型: 文字列

有効な値: SECOND\_DAY | NEXT\_DAY | EXPRESS | STANDARD

必須: はい

### SnowballCapacityPreference

米国リージョンのいずれかでジョブを作成する場合は、このジョブに必要な Snow デバイスのサイズを指定できます。他のすべての地域では、Snowball のストレージ容量は 80 TB です。

Snow ファミリーデバイスの種類については、Snowcone ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)または Snowball Edge ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)を参照してください。

型: 文字列

有効な値: T50 | T80 | T100 | T42 | T98 | T8 | T14 | T32 | NoPreference | T240 | T13

必須: いいえ

### SnowballType

このクラスターで使用する Snow ファミリーデバイスのタイプ。

#### Note

クラスタージョブの場合、AWS Snow Family は現在EDGEデバイスタイプのみをサポートしています。

Snow ファミリーデバイスの種類については、Snowcone ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)または Snowball Edge ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)を参照してください。

型: 文字列

有効な値: STANDARD | EDGE | EDGE\_C | EDGE\_CG | EDGE\_S | SNC1\_HDD | SNC1\_SSD | V3\_5C | V3\_5S | RACK\_5U\_C

必須: はい

## TaxDocuments

に必要な税金ドキュメント AWS リージョン。

型: TaxDocuments オブジェクト

必須: いいえ

## レスポンスの構文

```
{
  "ClusterId": "string",
  "JobListEntries": [
    {
      "CreationDate": number,
      "Description": "string",
      "IsMaster": boolean,
      "JobId": "string",
      "JobState": "string",
      "JobType": "string",
      "SnowballType": "string"
    }
  ]
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### ClusterId

クラスター用に自動生成された ID です。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

パターン: CID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

## JobListEntries

このクラスター用に作成されたジョブのリスト。構文については、このガイドの [ListJobsResult「\\$JobListEntries」](#) を参照してください。

型: [JobListEntry](#) オブジェクトの配列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### Ec2RequestFailedException

ユーザーには、試行されたアクションを実行するために必要な Amazon アクセス EC2 許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidInputCombinationException

ジョブまたはクラスターの作成に失敗しました。1 つ以上の入力が無効です。[CreateCluster : SnowballType](#) 値が [CreateJob : JobType](#) をサポートしていることを確認し、再試行してください。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

### KMSRequestFailedException

指定された AWS Key Management Service キーには、指定された [CreateJob](#) または [UpdateJob](#) アクションを実行するアクセス許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## CreateJob

サービス : AWS Snowball Edge

Amazon S3 と オンプレミスデータセンターとの間でデータをインポートまたはエクスポートするためのジョブを作成します。Snow デバイスのジョブを作成するには、AWS アカウントに適切な信頼ポリシーとアクセス許可が必要です。クラスター内のノードのジョブを作成する場合は、`clusterId` 値を指定するだけです。その他のジョブ属性は、クラスターから継承されます。

### Note

クラスター化されたジョブを注文する場合は、Snowball; Edge デバイスタイプのみがサポートされます。

デバイスの容量は任意です。

デバイスタイプの可用性は、AWS リージョンによって異なります。各リージョンでご利用いただけるサービスの詳細については、[AWS リージョン別のサービス](#)を参照してください。

Snow ファミリーのデバイスとその容量。

- デバイスタイプ: SNC1\_SSD
  - 容量: T14
  - 説明: Snowcone
- デバイスタイプ: SNC1\_HDD
  - 容量: T8
  - 説明: Snowcone
- デバイスタイプ: EDGE\_S
  - 容量: T98
  - 説明: Snowball Edge Storage Optimized (データ転送用)
- デバイスタイプ: EDGE\_CG
  - 容量: T42
  - 説明: Snowball Edge Compute Optimized GPU

- デバイスタイプ: EDGE\_C
  - 容量: T42
  - 説明: Snowball Edge Compute Optimized without GPU
- デバイスタイプ: EDGE
  - 容量: T100
  - 説明: EC2 コンピューティングで最適化された Snowball Edge ストレージ

**Note**

このデバイスは T98 に置き換えられました。

- デバイスタイプ: STANDARD
  - 容量: T50
  - 説明: 元の Snowball デバイス

**Note**

このデバイスは、寧夏、北京、シンガポールでのみ使用できます。AWS リージョン

- デバイスタイプ: STANDARD
  - 容量: T80
  - 説明: 元の Snowball デバイス

**Note**

このデバイスは、寧夏回族自治区、北京、シンガポールでのみご利用いただけます  
AWS リージョン。

- Snow Family デバイスタイプ: RACK\_5U\_C
  - 容量: T13
  - 説明: Snowblade。

- デバイスタイプ: V3\_5S

- 容量: T240
- 説明: Snowball Edge Storage Optimized 210TB

## リクエストの構文

```
{
  "AddressId": "string",
  "ClusterId": "string",
  "Description": "string",
  "DeviceConfiguration": {
    "SnowconeDeviceConfiguration": {
      "WirelessConnection": {
        "IsWifiEnabled": boolean
      }
    }
  },
  "ForwardingAddressId": "string",
  "ImpactLevel": "string",
  "JobType": "string",
  "KmsKeyARN": "string",
  "LongTermPricingId": "string",
  "Notification": {
    "DevicePickupSnsTopicARN": "string",
    "JobStatesToNotify": [ "string" ],
    "NotifyAll": boolean,
    "SnsTopicARN": "string"
  },
  "OnDeviceServiceConfiguration": {
    "EKSONDeviceService": {
      "EKSAnywhereVersion": "string",
      "KubernetesVersion": "string"
    },
    "NFSOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "S3OnDeviceService": {
      "FaultTolerance": number,
      "ServiceSize": number,
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    }
  },
}
```

```
"TGWOnDeviceService": {
  "StorageLimit": number,
  "StorageUnit": "string"
},
},
"PickupDetails": {
  "DevicePickupId": "string",
  "Email": "string",
  "IdentificationExpirationDate": number,
  "IdentificationIssuingOrg": "string",
  "IdentificationNumber": "string",
  "Name": "string",
  "PhoneNumber": "string"
},
"RemoteManagement": "string",
"Resources": {
  "Ec2AmiResources": [
    {
      "AmiId": "string",
      "SnowballAmiId": "string"
    }
  ],
  "LambdaResources": [
    {
      "EventTriggers": [
        {
          "EventResourceARN": "string"
        }
      ],
      "LambdaArn": "string"
    }
  ],
  "S3Resources": [
    {
      "BucketArn": "string",
      "KeyRange": {
        "BeginMarker": "string",
        "EndMarker": "string"
      },
      "TargetOnDeviceServices": [
        {
          "ServiceName": "string",
          "TransferOption": "string"
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```
    ]
  }
]
},
"RoleARN": "string",
"ShippingOption": "string",
"SnowballCapacityPreference": "string",
"SnowballType": "string",
"TaxDocuments": {
  "IND": {
    "GSTIN": "string"
  }
}
}
```

## リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

### AddressId

Snow デバイスの配送先住所の ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

### ClusterId

クラスターの ID。クラスター内のノードのジョブを作成する場合は、clusterId 値を指定するだけです。その他のジョブ属性は、クラスターから継承されます。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

パターン: CID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

### Description

この特定のジョブの説明を任意で定義します。たとえば、Important Photos 2016-08-11 など。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: `^[a-zA-Z0-9\s\-\_\.\:]+$`

必須: いいえ

### DeviceConfiguration

AWS Snowball Edge ジョブのデバイス設定を定義します。

Snow ファミリーデバイスの種類については、Snowcone ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)またはSnowball Edge ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)を参照してください。

型: [DeviceConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

### ForwardingAddressId

このフィールドは、お住まいのリージョンではサポートされていません。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: `ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}`

必須: いいえ

### ImpactLevel

ジョブの作成時に提供される、デバイスで保存または処理されるデータの最も大きい影響レベル。

型: 文字列

有効な値: IL2 | IL4 | IL5 | IL6 | IL99

必須: いいえ

### JobType

作成するジョブのタイプを定義します。

型: 文字列

有効な値: IMPORT | EXPORT | LOCAL\_USE

必須: いいえ

### KmsKeyARN

このジョブ KmsKeyARN に関連付ける。KmsKeyARN は [CreateKey](#) AWS Key Management Service (KMS) API アクションを使用して作成されます。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

パターン: arn:aws.\*:kms:.\*:[0-9]{12}:key/.\*

必須: いいえ

### LongTermPricingId

デバイスの長期価格タイプの ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 41 です。

パターン: LTPID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

### Notification

このジョブの Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) 通知設定を定義します。

型: [Notification](#) オブジェクト

必須: いいえ

## OnDeviceServiceConfiguration

転送されたデータをエクスポートまたはインポートする Snow Family デバイスのサービスを指定します。AWS Snow Family は Amazon S3 と NFS (ネットワークファイルシステム)、および AWS Storage Gateway サービステープゲートウェイタイプをサポートしています。

型: [OnDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## PickupDetails

デバイスを受け取る人を識別する情報。

型: [PickupDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

## RemoteManagement

Snowcone デバイスを内部ネットワークの外部からリモートで安全に操作および管理できます。INSTALLED\_AUTOSTART に設定した場合は、デバイスがお客様の場所に到着すると、リモート管理が自動的に利用できるようになります。それ以外の場合は、Snowball Edge クライアントを使用してデバイスを管理する必要があります。NOT\_INSTALLED に設定すると、デバイスのリモート管理はできなくなります。

型: 文字列

有効な値: INSTALLED\_ONLY | INSTALLED\_AUTOSTART | NOT\_INSTALLED

必須: いいえ

## Resources

このジョブに関連付けられた Amazon S3 バケットを定義します。

IMPORT ジョブでは、転送されたデータのインポート先となるバケットを指定します。

EXPORT ジョブでは、転送されたデータのエクスポート元となるバケットを指定します。また、任意で KeyRange 値も指定できます。範囲をエクスポートする場合は、BeginMarker 値か EndMarker 値を包括する値、または両方を指定して、範囲の長さを定義します。範囲は UTF-8 バイナリソートされます。

型: [JobResource](#) オブジェクト

必須：いいえ

### RoleARN

このジョブRoleARNに関連付ける。RoleArnは [CreateRole](#) AWS Identity and Access Management (IAM) APIアクションを使用して作成されます。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:iam::[0-9]{12}:role/.*`

必須: いいえ

### ShippingOption

このジョブの配送速度。この速度は、Snow デバイスをどれくらい早く入手できるかではなく、転送中にSnowデバイスが目的地に移動する速さを表します。リージョンの配送速度は次のとおりです。

- オーストラリアでは、至急便を利用できます。通常、至急便で発送された Snow デバイスは約 1 日で配送されます。
- 欧州連合 (EU) では、至急便を利用できます。通常、至急便で発送された Snow デバイスは約 1 日で配送されます。また、EU のほとんどの国で通常便も利用できます。こちらは通常片道 1 週間以内です。
- インドでは、Snow デバイスが 1~7 日で配送されます。
- 米国では、翌日配送と 翌々日配送を利用できます。

型: 文字列

有効な値: SECOND\_DAY | NEXT\_DAY | EXPRESS | STANDARD

必須：いいえ

### SnowballCapacityPreference

米国リージョンのいずれかでジョブを作成する場合は、このジョブに必要な Snow デバイスのサイズを指定できます。他のすべての地域では、Snowball のストレージ容量は 80 TB です。

Snow ファミリーデバイスの種類については、Snowcone ユーザーガイドの [Snow ファミリーのデバイスと容量](#) または Snowball Edge ユーザーガイドの [Snow ファミリーのデバイスと容量](#) を参照してください。

型: 文字列

有効な値: T50 | T80 | T100 | T42 | T98 | T8 | T14 | T32 | NoPreference | T240 | T13

必須: いいえ

## SnowballType

このジョブに使用する Snow ファミリーデバイスのタイプ。

### Note

クラスタージョブの場合、AWS Snow Family は現在EDGEデバイスタイプのみをサポートしています。

このジョブに使用する AWS Snow デバイスのタイプ。現在、クラスタージョブでサポートされているデバイスタイプは EDGE のみです。

詳細については、Snowball Edge デベロッパーガイドの「[Snowball Edge デバイスオプション](#)」を参照してください。

Snow ファミリーデバイスの種類については、Snowcone ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)またはSnowball Edge ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)を参照してください。

型: 文字列

有効な値: STANDARD | EDGE | EDGE\_C | EDGE\_CG | EDGE\_S | SNC1\_HDD | SNC1\_SSD | V3\_5C | V3\_5S | RACK\_5U\_C

必須: いいえ

## TaxDocuments

に必要な税金ドキュメント AWS リージョン。

型: [TaxDocuments](#) オブジェクト

必須: いいえ

## レスポンスの構文

```
{  
  "JobId": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### JobId

ジョブに対して自動生成された ID。たとえば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

パターン: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### ClusterLimitExceededException

ジョブ作成に失敗しました。現在、クラスターは 5 つのノードをサポートしています。クラスターのノードが 5 つ未満で、このクラスター用に作成するノードの数がそれより多い場合は、クラスターのノードがちょうど 5 つになるまでジョブを作成し直してください。

HTTP ステータスコード: 400

### Ec2RequestFailedException

ユーザーには、試行されたアクションを実行するために必要な Amazon アクセス EC2 許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

## InvalidInputCombinationException

ジョブまたはクラスターの作成に失敗しました。1 つ以上の入力が無効です。[CreateCluster : SnowballType](#) 値が [CreateJob : JobType](#) をサポートしていることを確認し、再試行してください。

HTTP ステータスコード: 400

## InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

## KMSRequestFailedException

指定された AWS Key Management Service キーには、指定された [CreateJob](#) または [UpdateJob](#) アクションを実行するアクセス許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の .NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# CreateLongTermPricing

サービス : AWS Snowball Edge

デバイスの長期使用オプションを使用してジョブを作成します。長期使用は、デバイスの 1 年または 3 年間の長期料金タイプです。前払いで請求され、長期料金の割引 AWS が提供されます。

## リクエストの構文

```
{
  "IsLongTermPricingAutoRenew": boolean,
  "LongTermPricingType": "string",
  "SnowballType": "string"
}
```

## リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

### [IsLongTermPricingAutoRenew](#)

デバイスの現在の長期料金タイプを更新するかどうかを指定します。

型: ブール値

必須: いいえ

### [LongTermPricingType](#)

デバイスに必要な長期料金オプションのタイプ。1 年または 3 年間の長期料金設定。

型: 文字列

有効な値: OneYear | ThreeYear | OneMonth

必須: はい

### [SnowballType](#)

長期料金設定ジョブで使用する Snow ファミリーデバイスのタイプ。

型: 文字列

有効な値: STANDARD | EDGE | EDGE\_C | EDGE\_CG | EDGE\_S | SNC1\_HDD | SNC1\_SSD | V3\_5C | V3\_5S | RACK\_5U\_C

必須: はい

## レスポンスの構文

```
{  
  "LongTermPricingId": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### LongTermPricingId

デバイスの長期価格タイプの ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 41 です。

パターン: LTPID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## CreateReturnShippingLabel

サービス : AWS Snowball Edge

Snow デバイスを AWS に返すために使用する配送ラベルを作成します。

### リクエストの構文

```
{
  "JobId": "string",
  "ShippingOption": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### JobId

返品配送ラベルを作成するジョブのID。たとえば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: はい

#### ShippingOption

特定のジョブの配送速度。この速度は、デバイスがどのくらい早く返されるかには影響しません AWS。この速度は、転送中の目的地への移動速度を表します。リージョンの配送速度は次のとおりです。

型: 文字列

有効な値: SECOND\_DAY | NEXT\_DAY | EXPRESS | STANDARD

必須：いいえ

## レスポンスの構文

```
{  
  "Status": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### Status

に返される Snow デバイス上のタスクのステータス情報 AWS。

型: 文字列

有効な値: InProgress | TimedOut | Succeeded | Failed

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### ConflictException

この例外は、他のリクエストが完了しない場合に CreateReturnShippingLabel を複数回呼び出したときに発生します。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidInputCombinationException

ジョブまたはクラスターの作成に失敗しました。1 つ以上の入力が無効です。[CreateCluster : SnowballType](#) 値が [CreateJob : JobType](#) をサポートしていることを確認し、再試行してください。

HTTP ステータスコード: 400

## InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

## InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

## ReturnShippingLabelAlreadyExistsException

CreateReturnShippingLabel を呼び出し、有効な返送用ラベルが既に存在している場合、この例外が発生します。この場合、DescribeReturnShippingLabelを使用して を取得します URL。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DescribeAddress

サービス : AWS Snowball Edge

AddressId を取得し、そのアドレスに関する具体的な詳細を Address オブジェクトの形式で返します。

### リクエストの構文

```
{
  "AddressId": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### AddressId

特定の住所に対して自動生成された ID です。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

Pattern: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須 : はい

### レスポンスの構文

```
{
  "Address": {
    "AddressId": "string",
    "City": "string",
    "Company": "string",
    "Country": "string",
    "IsRestricted": boolean,
    "Landmark": "string",
  }
}
```

```
"Name": "string",
"PhoneNumber": "string",
"PostalCode": "string",
"PrefectureOrDistrict": "string",
"StateOrProvince": "string",
"Street1": "string",
"Street2": "string",
"Street3": "string",
"Type": "string"
}
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### Address

特定のジョブに関連付けられた Snow デバイスを出荷する住所。

型: Address オブジェクト

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「共通エラー」を参照してください。

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK の場合。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DescribeAddresses

サービス : AWS Snowball Edge

指定された数の ADDRESS オブジェクトを返します。これを米国リージョンのいずれかAPIで呼び出すと、このアカウントに関連付けられているすべての米国リージョンのアドレスのリストからアドレスが返されます。

### リクエストの構文

```
{
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### MaxResults

返される ADDRESS オブジェクトの数。

型: 整数

有効な範囲: 最小値は 0 です。最大値は 100 です。

必須: いいえ

#### NextToken

HTTP リクエストはステートレスです。ADDRESS オブジェクトのリストで「次」になるオブジェクトを特定するには、返された住所のリストの開始点としてNextToken に値を指定するオプションがあります。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## レスポンスの構文

```
{
  "Addresses": [
    {
      "AddressId": "string",
      "City": "string",
      "Company": "string",
      "Country": "string",
      "IsRestricted": boolean,
      "Landmark": "string",
      "Name": "string",
      "PhoneNumber": "string",
      "PostalCode": "string",
      "PrefectureOrDistrict": "string",
      "StateOrProvince": "string",
      "Street1": "string",
      "Street2": "string",
      "Street3": "string",
      "Type": "string"
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### Addresses

このアカウント用に作成された Snow デバイスの配送先住所。

型: [Address](#) オブジェクトの配列

### NextToken

HTTP リクエストはステートレスです。自動生成された NextToken 値を次の DescribeAddresses の呼び出しに使用する場合、返される住所のリストは、配列内のこの時点から開始されます。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidNextTokenException

NextToken 文字列が予期せず変更され、操作が停止しました。NextToken 文字列を変更せずに操作を実行し、再度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DescribeCluster

サービス : AWS Snowball Edge

特定のクラスターについて、配送情報、クラスターステータス、他の重要メタデータといった情報を返します。

### リクエストの構文

```
{  
  "ClusterId": "string"  
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### ClusterId

クラスター用に自動生成された ID です。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: CID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須 : はい

### レスポンスの構文

```
{  
  "ClusterMetadata": {  
    "AddressId": "string",  
    "ClusterId": "string",  
    "ClusterState": "string",  
    "CreationDate": number,  
    "Description": "string",  
    "ForwardingAddressId": "string",  
    "JobType": "string",
```

```

    "KmsKeyARN": "string",
    "Notification": {
      "DevicePickupSnsTopicARN": "string",
      "JobStatesToNotify": [ "string" ],
      "NotifyAll": boolean,
      "SnsTopicARN": "string"
    },
    "OnDeviceServiceConfiguration": {
      "EKSONDeviceService": {
        "EKSAnywhereVersion": "string",
        "KubernetesVersion": "string"
      },
      "NFSOnDeviceService": {
        "StorageLimit": number,
        "StorageUnit": "string"
      },
      "S3OnDeviceService": {
        "FaultTolerance": number,
        "ServiceSize": number,
        "StorageLimit": number,
        "StorageUnit": "string"
      },
      "TGWOnDeviceService": {
        "StorageLimit": number,
        "StorageUnit": "string"
      }
    },
    "Resources": {
      "Ec2AmiResources": [
        {
          "AmiId": "string",
          "SnowballAmiId": "string"
        }
      ],
      "LambdaResources": [
        {
          "EventTriggers": [
            {
              "EventResourceARN": "string"
            }
          ],
          "LambdaArn": "string"
        }
      ]
    }
  ],

```

```
    "S3Resources": [
      {
        "BucketArn": "string",
        "KeyRange": {
          "BeginMarker": "string",
          "EndMarker": "string"
        },
        "TargetOnDeviceServices": [
          {
            "ServiceName": "string",
            "TransferOption": "string"
          }
        ]
      }
    ],
    "RoleARN": "string",
    "ShippingOption": "string",
    "SnowballType": "string",
    "TaxDocuments": {
      "IND": {
        "GSTIN": "string"
      }
    }
  }
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### ClusterMetadata

特定のクラスターについての、配送情報、クラスターステータス、および他の重要メタデータといった情報。

型: [ClusterMetadata](#) オブジェクト

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DescribeJob

サービス : AWS Snowball Edge

特定のジョブについて、配送情報、ジョブステータス、他の重要メタデータといった情報を返します。

### リクエストの構文

```
{  
  "JobId": "string"  
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### JobId

ジョブに対して自動生成された ID。たとえば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須 : はい

### レスポンスの構文

```
{  
  "JobMetadata": {  
    "AddressId": "string",  
    "ClusterId": "string",  
    "CreationDate": number,  
    "DataTransferProgress": {  
      "BytesTransferred": number,  

```

```

    "ObjectsTransferred": number,
    "TotalBytes": number,
    "TotalObjects": number
  },
  "Description": "string",
  "DeviceConfiguration": {
    "SnowconeDeviceConfiguration": {
      "WirelessConnection": {
        "IsWifiEnabled": boolean
      }
    }
  },
  "ForwardingAddressId": "string",
  "ImpactLevel": "string",
  "JobId": "string",
  "JobLogInfo": {
    "JobCompletionReportURI": "string",
    "JobFailureLogURI": "string",
    "JobSuccessLogURI": "string"
  },
  "JobState": "string",
  "JobType": "string",
  "KmsKeyARN": "string",
  "LongTermPricingId": "string",
  "Notification": {
    "DevicePickupSnsTopicARN": "string",
    "JobStatesToNotify": [ "string" ],
    "NotifyAll": boolean,
    "SnsTopicARN": "string"
  },
  "OnDeviceServiceConfiguration": {
    "EKSONDeviceService": {
      "EKSAnywhereVersion": "string",
      "KubernetesVersion": "string"
    },
    "NFSOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "S3OnDeviceService": {
      "FaultTolerance": number,
      "ServiceSize": number,
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    }
  }
}

```

```
    },
    "TGWOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    }
  },
  "PickupDetails": {
    "DevicePickupId": "string",
    "Email": "string",
    "IdentificationExpirationDate": number,
    "IdentificationIssuingOrg": "string",
    "IdentificationNumber": "string",
    "Name": "string",
    "PhoneNumber": "string"
  },
  "RemoteManagement": "string",
  "Resources": {
    "Ec2AmiResources": [
      {
        "AmiId": "string",
        "SnowballAmiId": "string"
      }
    ],
    "LambdaResources": [
      {
        "EventTriggers": [
          {
            "EventResourceARN": "string"
          }
        ],
        "LambdaArn": "string"
      }
    ],
    "S3Resources": [
      {
        "BucketArn": "string",
        "KeyRange": {
          "BeginMarker": "string",
          "EndMarker": "string"
        },
        "TargetOnDeviceServices": [
          {
            "ServiceName": "string",
            "TransferOption": "string"
          }
        ]
      }
    ]
  }
}
```

```

    }
  ]
}
],
"RoleARN": "string",
"ShippingDetails": {
  "InboundShipment": {
    "Status": "string",
    "TrackingNumber": "string"
  },
  "OutboundShipment": {
    "Status": "string",
    "TrackingNumber": "string"
  },
  "ShippingOption": "string"
},
"SnowballCapacityPreference": "string",
"SnowballId": "string",
"SnowballType": "string",
"TaxDocuments": {
  "IND": {
    "GSTIN": "string"
  }
}
},
"SubJobMetadata": [
{
  "AddressId": "string",
  "ClusterId": "string",
  "CreationDate": number,
  "DataTransferProgress": {
    "BytesTransferred": number,
    "ObjectsTransferred": number,
    "TotalBytes": number,
    "TotalObjects": number
  },
  "Description": "string",
  "DeviceConfiguration": {
    "SnowconeDeviceConfiguration": {
      "WirelessConnection": {
        "IsWifiEnabled": boolean
      }
    }
  }
}
]
}

```

```
},
  "ForwardingAddressId": "string",
  "ImpactLevel": "string",
  "JobId": "string",
  "JobLogInfo": {
    "JobCompletionReportURI": "string",
    "JobFailureLogURI": "string",
    "JobSuccessLogURI": "string"
  },
  "JobState": "string",
  "JobType": "string",
  "KmsKeyARN": "string",
  "LongTermPricingId": "string",
  "Notification": {
    "DevicePickupSnsTopicARN": "string",
    "JobStatesToNotify": [ "string" ],
    "NotifyAll": boolean,
    "SnsTopicARN": "string"
  },
  "OnDeviceServiceConfiguration": {
    "EKSONDeviceService": {
      "EKSAnywhereVersion": "string",
      "KubernetesVersion": "string"
    },
    "NFSOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "S3OnDeviceService": {
      "FaultTolerance": number,
      "ServiceSize": number,
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "TGWOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    }
  },
  "PickupDetails": {
    "DevicePickupId": "string",
    "Email": "string",
    "IdentificationExpirationDate": number,
    "IdentificationIssuingOrg": "string",
```

```
    "IdentificationNumber": "string",
    "Name": "string",
    "PhoneNumber": "string"
  },
  "RemoteManagement": "string",
  "Resources": {
    "Ec2AmiResources": [
      {
        "AmiId": "string",
        "SnowballAmiId": "string"
      }
    ],
    "LambdaResources": [
      {
        "EventTriggers": [
          {
            "EventResourceARN": "string"
          }
        ],
        "LambdaArn": "string"
      }
    ],
    "S3Resources": [
      {
        "BucketArn": "string",
        "KeyRange": {
          "BeginMarker": "string",
          "EndMarker": "string"
        },
        "TargetOnDeviceServices": [
          {
            "ServiceName": "string",
            "TransferOption": "string"
          }
        ]
      }
    ]
  },
  "RoleARN": "string",
  "ShippingDetails": {
    "InboundShipment": {
      "Status": "string",
      "TrackingNumber": "string"
    }
  },
}
```

```
    "OutboundShipment": {
      "Status": "string",
      "TrackingNumber": "string"
    },
    "ShippingOption": "string"
  },
  "SnowballCapacityPreference": "string",
  "SnowballId": "string",
  "SnowballType": "string",
  "TaxDocuments": {
    "IND": {
      "GSTIN": "string"
    }
  }
}
]
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### [JobMetadata](#)

特定のジョブについての、配送情報、ジョブステータス、他の重要メタデータといった情報。

型: [JobMetadata](#) オブジェクト

### [SubJobMetadata](#)

特定のジョブパート ( エクスポートジョブの場合 ) についての、配送情報、ジョブステータス、他の重要メタデータといった情報。

型: [JobMetadata](#) オブジェクトの配列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DescribeReturnShippingLabel

サービス : AWS Snowball Edge

に返される Snow デバイスの配送ラベルに関する情報 AWS。

### リクエストの構文

```
{  
  "JobId": "string"  
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### JobId

ジョブに対して自動生成された ID。たとえば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: はい

### レスポンスの構文

```
{  
  "ExpirationDate": number,  
  "ReturnShippingLabelURI": "string",  
  "Status": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### ExpirationDate

現在の返品配送ラベルの有効期限。

型: タイムスタンプ

### ReturnShippingLabelURI

返送ラベルのダウンロードURIに使用される署名付き Amazon S3。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

### Status

に返される Snow デバイス上のタスクのステータス情報 AWS。

型: 文字列

有効な値: InProgress | TimedOut | Succeeded | Failed

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### ConflictException

この例外は、他のリクエストが完了しない場合に CreateReturnShippingLabel を複数回呼び出したときに発生します。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の .NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## GetJobManifest

サービス : AWS Snowball Edge

指定されたJobId値に関連付けられたマニフェストファイルURL用に署名された Amazon S3 へのリンクを返します。このリクエストが作成されてから最大 60 分間、マニフェストファイルにアクセスできます。60 分が経過した後にマニフェストファイルにアクセスするには、GetJobManifest アクションを再度呼び出す必要があります。

マニフェストは暗号化ファイルであり、ジョブが WithCustomer ステータスになるとダウンロードできます。これは、マニフェストとUnlockCodeコード値がデバイスの保護に使用されるAPIため、これを呼び出すための唯一の有効なステータスであり、デバイスがある場合にのみ使用する必要があります。マニフェストは UnlockCode コード値で復号されます。クライアントが初めて起動するときに、Snowball クライアントを使用して両方の値を Snow デバイスに渡します。

ベストプラクティスとして、そのジョブのマニフェストファイルと同じロケーションに UnlockCode 値のコピーを保存しないことをお勧めします。別々に保存することで、許可されていない相手がそのジョブに関連付けられた Snow デバイスにアクセスできるようになることを防止できます。

マニフェストファイルとロック解除コードを含む特定のジョブの認証情報は、ジョブが作成されてから 360 日後に期限切れになります。

### リクエストの構文

```
{  
  "JobId": "string"  
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### JobId

マニフェストファイルを取得するジョブの ID。例えば、 JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: はい

## レスポンスの構文

```
{  
  "ManifestURI": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### ManifestURI

指定されたJobId値に関連付けられたURLマニフェストファイルの Amazon S3 署名付き。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

## InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## GetJobUnlockCode

サービス : AWS Snowball Edge

指定されたジョブの UnlockCode コード値を返します。特定の UnlockCode 値は、関連付けられたジョブが作成されてから最大 360 日間アクセスできます。

UnlockCode 値は 29 文字のコードで、25 個の英数字と 4 つのハイフンで構成されます。このコードは、Snowball クライアントの初回起動時に、そのクライアントを介して Snow デバイスにマニフェストと一緒に渡されたマニフェストファイルを復号します。これを呼び出す唯一の有効なステータスAPIは、マニフェストWithCustomerであり、Unlockコード値はデバイスの保護に使用されるため、デバイスがある場合にのみ使用する必要があります。

ベストプラクティスとして、そのジョブのマニフェストファイルと同じロケーションに UnlockCode のコピーを保存しないことをお勧めします。別々に保存することで、許可されていない相手がそのジョブに関連付けられた Snow デバイスにアクセスできるようになることを防止できます。

### リクエストの構文

```
{  
  "JobId": "string"  
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### JobId

UnlockCode の値を取得するジョブのID。例えば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須：はい

## レスポンスの構文

```
{  
  "UnlockCode": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### UnlockCode

指定されたジョブの UnlockCode 値。UnlockCode 値には、ジョブが作成されてから最大 360 日間アクセスできます。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## GetSnowballUsage

サービス : AWS Snowball Edge

アカウントの Snow ファミリーサービスの制限に関する情報と、アカウントが使用中の Snow デバイスの数を返します。

一度に使用できる Snow デバイスの数のデフォルトのサービス制限は、1 です。サービス制限を増加するには、AWS サポートまでお問い合わせください。

### レスポンスの構文

```
{
  "SnowballLimit": number,
  "SnowballsInUse": number
}
```

### レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

#### SnowballLimit

このアカウントが一度に保持できる Snow デバイスの数のサービス制限。デフォルトのサービス制限は 1 (1) です。

型: 整数

#### SnowballsInUse

このアカウントが現在使用している Snow デバイスの数。

型: 整数

### エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# GetSoftwareUpdates

サービス : AWS Snowball Edge

指定されたに関連付けられたURL更新ファイルの Amazon S3 署名を返しますJobId。

## リクエストの構文

```
{  
  "JobId": "string"  
}
```

## リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

### JobId

ソフトウェア更新ファイルを取得するジョブの ID。例えば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須 : はい

## レスポンスの構文

```
{  
  "UpdatesURI": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

## UpdatesURI

指定されたJobId値に関連付けられたURL更新ファイルの Amazon S3 署名付き。ソフトウェアの更新は、このリクエストが行われた後 2 日間利用可能になります。2 日が経過した後にアップデートにアクセスするには、再度 GetSoftwareUpdates を呼び出す必要があります。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)

- [AWS SDK Go v2 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListClusterJobs

サービス : AWS Snowball Edge

指定された長さの JobListEntry オブジェクトの配列を返します。各 JobListEntry オブジェクトは、指定されたクラスター内のジョブを対象とし、ジョブの状態、ジョブ ID、およびその他の情報を含みます。

### リクエストの構文

```
{
  "ClusterId": "string",
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### ClusterId

リスト表示するクラスターの 39 文字の ID。たとえば CID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000 など。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: CID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: はい

#### MaxResults

返される JobListEntry オブジェクトの数。

型: 整数

有効な範囲: 最小値は 0 です。最大値は 100 です。

必須：いいえ

### NextToken

HTTP リクエストはステートレスです。JobListEntry オブジェクトのリストで「次」になるオブジェクトを特定するには、返されたリストの開始点として NextToken を指定するオプションがあります。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須：いいえ

## レスポンスの構文

```
{
  "JobListEntries": [
    {
      "CreationDate": number,
      "Description": "string",
      "IsMaster": boolean,
      "JobId": "string",
      "JobState": "string",
      "JobType": "string",
      "SnowballType": "string"
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### JobListEntries

各 JobListEntry オブジェクトには、ジョブの状態、ジョブの ID、およびエクスポートジョブの場合にジョブがジョブパートであるかどうかを示す値が含まれます。

型: [JobListEntry](#) オブジェクトの配列

## [NextToken](#)

HTTP リクエストはステートレスです。自動生成された NextToken 値を次の ListClusterJobsResult の呼び出しに使用する場合、返されるジョブのリストは、配列内のこの時点から開始されます。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidNextTokenException

NextToken 文字列が予期せず変更され、操作が停止しました。NextToken 文字列を変更せずに操作を実行し、再度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の .NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)

- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListClusters

サービス : AWS Snowball Edge

指定された長さの ClusterListEntry オブジェクトの配列を返します。各 ClusterListEntry オブジェクトには、クラスターの状態、クラスターの ID、およびその他の重要なステータス情報が含まれています。

### リクエストの構文

```
{
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### [MaxResults](#)

返される ClusterListEntry オブジェクトの数。

型: 整数

有効な範囲: 最小値は 0 です。最大値は 100 です。

必須: いいえ

#### [NextToken](#)

HTTP リクエストはステートレスです。ClusterListEntry オブジェクトのリストで「次」になるオブジェクトを特定するには、返されたリストの開始点として NextToken を指定するオプションがあります。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## レスポンスの構文

```
{
  "ClusterListEntries": [
    {
      "ClusterId": "string",
      "ClusterState": "string",
      "CreationDate": number,
      "Description": "string"
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### [ClusterListEntries](#)

各 [ClusterListEntry](#) オブジェクトには、クラスターの状態、クラスターの ID、およびその他の重要なステータス情報が含まれています。

型: [ClusterListEntry](#) オブジェクトの配列

### [NextToken](#)

HTTP リクエストはステートレスです。自動生成された [NextToken](#) を次の [ClusterListEntry](#) の呼び出しに使用する場合、返されるクラスターのリストは、配列内のこの時点から開始されます。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidNextTokenException

NextToken 文字列が予期せず変更され、操作が停止しました。NextToken 文字列を変更せずに操作を実行し、再度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListCompatibleImages

サービス : AWS Snowball Edge

このアクションは、Snow デバイスで使用できる AWS アカウントのようにサポートされる、が所有するさまざまな Amazon EC2互換の Amazon マシンイメージ (AMIs) のリストを返します。現在、サポートされているのAMIsは、Amazon Linux-2、Ubuntu 20.04 LTS - Focal、または Ubuntu 22.04 LTS - Jammy イメージに基づいており、AWS Marketplace で入手できます。Ubuntu 16.04 LTS - Xenial (HVM) イメージは、Market ではサポートされなくなりましたが、Amazon EC2 VM Import/Export を介したデバイス上での使用、および ローカルで実行することは引き続きサポートされていますAMIs。

### リクエストの構文

```
{
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### [MaxResults](#)

互換性があるイメージのリストの結果の最大数。現在、Snowball Edge デバイスは 10 を保存できますAMIs。

型: 整数

有効な範囲: 最小値 は 0 です。最大値は 100 です。

必須 : いいえ

#### [NextToken](#)

HTTP リクエストはステートレスです。互換性のあるイメージのリストでどのオブジェクトが「次へ」になるかを特定するには、返された画像のリストの開始点として NextToken に値を指定します。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## レスポンスの構文

```
{
  "CompatibleImages": [
    {
      "AmiId": "string",
      "Name": "string"
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### CompatibleImages

Snow デバイスの ID と名前などAMI、互換性のある を記述するJSONフォーマットされたオブジェクトAMI。

型: [CompatibleImage](#) オブジェクトの配列

### NextToken

HTTP リクエストはステートレスであるため、これは返されるイメージの次のリストの開始点です。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### Ec2RequestFailedException

ユーザーには、試行されたアクションを実行するために必要な Amazon アクセスEC2許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidNextTokenException

NextToken 文字列が予期せず変更され、操作が停止しました。NextToken 文字列を変更せずに操作を実行し、再度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListJobs

サービス : AWS Snowball Edge

指定された長さの JobListEntry オブジェクトの配列を返します。各 JobListEntry オブジェクトには、ジョブの状態、ジョブの ID、およびエクスポートジョブの場合にジョブがジョブパートであるかどうかを示す値が含まれます。この API アクションを米国リージョンのいずれかで呼び出すと、このアカウントに関連付けられているすべてのジョブのリストから、すべての米国リージョンのジョブが返されます。

### リクエストの構文

```
{
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次の JSON 形式のデータを受け入れます。

#### MaxResults

返される JobListEntry オブジェクトの数。

型: 整数

有効な範囲: 最小値 は 0 です。最大値は 100 です。

必須 : いいえ

#### NextToken

HTTP リクエストはステートレスです。JobListEntry オブジェクトのリストで「次」になるオブジェクトを特定するには、返されたリストの開始点として NextToken を指定するオプションがあります。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## レスポンスの構文

```
{
  "JobListEntries": [
    {
      "CreationDate": number,
      "Description": "string",
      "IsMaster": boolean,
      "JobId": "string",
      "JobState": "string",
      "JobType": "string",
      "SnowballType": "string"
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### [JobListEntries](#)

各 JobListEntry オブジェクトには、ジョブの状態、ジョブの ID、およびエクスポートジョブの場合にジョブがジョブパートであるかどうかを示す値が含まれます。

型: [JobListEntry](#) オブジェクトの配列

### [NextToken](#)

HTTP リクエストはステートレスです。自動生成された NextToken 値を次の ListJobs の呼び出しに使用する場合、返される JobListEntry オブジェクトは、配列内のこの時点から開始されます。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidNextTokenException

NextToken 文字列が予期せず変更され、操作が停止しました。NextToken 文字列を変更せずに操作を実行し、再度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListLongTermPricing

サービス : AWS Snowball Edge

すべての長期価格タイプをリストします。

### リクエストの構文

```
{  
  "MaxResults": number,  
  "NextToken": "string"  
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### MaxResults

返される ListLongTermPricing オブジェクトの最大数。

型: 整数

有効な範囲: 最小値は 0 です。最大値は 100 です。

必須: いいえ

#### NextToken

HTTP リクエストはステートレスであるため、これは次の のリストが返ListLongTermPricingす出発点です。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## レスポンスの構文

```
{
  "LongTermPricingEntries": [
    {
      "CurrentActiveJob": "string",
      "IsLongTermPricingAutoRenew": boolean,
      "JobIds": [ "string" ],
      "LongTermPricingEndDate": number,
      "LongTermPricingId": "string",
      "LongTermPricingStartDate": number,
      "LongTermPricingStatus": "string",
      "LongTermPricingType": "string",
      "ReplacementJob": "string",
      "SnowballType": "string"
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### [LongTermPricingEntries](#)

各 [LongTermPricingEntry](#) オブジェクトには、ステータス、ID、および [LongTermPricing](#) タイプに関するその他の情報が含まれています。

型: [LongTermPricingListEntry](#) オブジェクトの配列

### [NextToken](#)

HTTP リクエストはステートレスであるため、これは返される [ListLongTermPricing](#) リストの次のリストの開始点です。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidNextTokenException

NextToken 文字列が予期せず変更され、操作が停止しました。NextToken 文字列を変更せずに操作を実行し、再度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の .NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListPickupLocations

サービス : AWS Snowball Edge

ユーザーがデバイスの受け取り場所として選択できる場所のリスト。

### リクエストの構文

```
{
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### [MaxResults](#)

1 ページあたりにリストする場所の最大数。

型: 整数

有効な範囲: 最小値は 0 です。最大値は 100 です。

必須: いいえ

#### [NextToken](#)

HTTP リクエストはステートレスです。ListPickupLocationsRequest オブジェクトのリストで「次」になるオブジェクトを特定するには、返されたリストの開始点として NextToken を指定するオプションがあります。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## レスポンスの構文

```
{
  "Addresses": [
    {
      "AddressId": "string",
      "City": "string",
      "Company": "string",
      "Country": "string",
      "IsRestricted": boolean,
      "Landmark": "string",
      "Name": "string",
      "PhoneNumber": "string",
      "PostalCode": "string",
      "PrefectureOrDistrict": "string",
      "StateOrProvince": "string",
      "Street1": "string",
      "Street2": "string",
      "Street3": "string",
      "Type": "string"
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### [Addresses](#)

受け取り場所の所在地に関する情報。

型: [Address](#) オブジェクトの配列

### [NextToken](#)

HTTP リクエストはステートレスです。ListPickupLocationsResult オブジェクトのリストで「次」になるオブジェクトを特定するには、返されたリストの開始点として NextToken を指定するオプションがあります。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

## 例

### 例

この例では、の 1 つの使用状況を示しています ListPickupLocations。

```
{
  "id": "to-get-a-list-of-locations-from-which-the-customer-can-choose-to-pickup-a-device-1482542167627",
  "title": "To get a list of locations from which the customer can choose to pickup a device.",
  "description": "Returns a specified number of Address objects. Each Address is a pickup location address for Snow Family devices.",
  "input": {},
  "output": {
    "Addresses": [
      {
        "City": "Seattle",
        "Name": "My Name",
        "AddressId": "ADID1234ab12-3eec-4eb3-9be6-9374c10eb51b",
        "Street1": "123 Main Street",
        "Company": "My Company",
        "PhoneNumber": "425-555-5555",
        "Country": "US",
        "PostalCode": "98101",
        "StateOrProvince": "WA"
      }
    ]
  }
}
```

```
    }  
  ]  
},  
"comments": {}  
}
```

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListServiceVersions

サービス : AWS Snowball Edge

Snow オンデバイスサービス用にサポートされているすべてのバージョンを一覧表示します。特定のサービスでサポートされるバージョンを含む ServiceVersion オブジェクトの配列を返します。

### リクエストの構文

```
{
  "DependentServices": [
    {
      "ServiceName": "string",
      "ServiceVersion": {
        "Version": "string"
      }
    }
  ],
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string",
  "ServiceName": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### DependentServices

リクエストされたサービスの依存サービスの名前とバージョンのリスト。

型: [DependentService](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

#### MaxResults

返される ListServiceVersions オブジェクトの最大数。

型: 整数

有効な範囲: 最小値は 0 です。最大値は 100 です。

必須: いいえ

### NextToken

HTTP リクエストはステートレスであるため、返される `ListServiceVersionsRequest` バージョンのリストの出発点となります。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### ServiceName

サポートされているバージョンをリクエストしているサービスの名前。

型: 文字列

有効な値: KUBERNETES | EKS\_ANYWHERE

必須: はい

## レスポンスの構文

```
{
  "DependentServices": [
    {
      "ServiceName": "string",
      "ServiceVersion": {
        "Version": "string"
      }
    }
  ],
  "NextToken": "string",
  "ServiceName": "string",
  "ServiceVersions": [
    {
      "Version": "string"
    }
  ]
}
```

```
]
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### DependentServices

システムがサポート対象バージョンを提供したサービスのうち、依存サービスの名前とバージョンのリスト。

型: [DependentService](#) オブジェクトの配列

### NextToken

HTTP リクエストはステートレスであるため、返される `ListServiceVersionsResult` 結果の次のリストの開始点となります。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: .\*

### ServiceName

システムがサポート対象バージョンを提供したサービスの名前。

型: 文字列

有効な値: KUBERNETES | EKS\_ANYWHERE

### ServiceVersions

サポートされているバージョンのリスト。

型: [ServiceVersion](#) オブジェクトの配列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## InvalidNextTokenException

NextToken 文字列が予期せず変更され、操作が停止しました。NextToken 文字列を変更せずに操作を実行し、再度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

## InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## UpdateCluster

サービス : AWS Snowball Edge

クラスターの `ClusterState` 値が `AwaitingQuorum` 状態にあるときは、クラスターに関連付けられた情報の一部を更新できます。クラスターが別のジョブの状態 ( 通常はクラスターを作成した 60 分後 ) に変更されると、このアクションは使用できなくなります。

### リクエストの構文

```
{
  "AddressId": "string",
  "ClusterId": "string",
  "Description": "string",
  "ForwardingAddressId": "string",
  "Notification": {
    "DevicePickupSnsTopicARN": "string",
    "JobStatesToNotify": [ "string" ],
    "NotifyAll": boolean,
    "SnsTopicARN": "string"
  },
  "OnDeviceServiceConfiguration": {
    "EKSONDeviceService": {
      "EKSAnywhereVersion": "string",
      "KubernetesVersion": "string"
    },
    "NFSOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "S3OnDeviceService": {
      "FaultTolerance": number,
      "ServiceSize": number,
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "TGWOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    }
  },
  "Resources": {
    "Ec2AmiResources": [
      {
```

```
    "AmiId": "string",
    "SnowballAmiId": "string"
  },
],
"LambdaResources": [
  {
    "EventTriggers": [
      {
        "EventResourceARN": "string"
      }
    ],
    "LambdaArn": "string"
  }
],
"S3Resources": [
  {
    "BucketArn": "string",
    "KeyRange": {
      "BeginMarker": "string",
      "EndMarker": "string"
    },
    "TargetOnDeviceServices": [
      {
        "ServiceName": "string",
        "TransferOption": "string"
      }
    ]
  }
]
},
"RoleARN": "string",
"ShippingOption": "string"
}
```

## リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

### AddressId

更新された [Address](#) オブジェクトのID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

### ClusterId

更新するクラスターのクラスター ID。たとえば、CID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: CID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: はい

### Description

このクラスターの更新された説明。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### ForwardingAddressId

このフィールドは、お住まいのリージョンではサポートされていません。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

## Notification

新規または更新された [Notification](#) オブジェクト。

型: [Notification](#) オブジェクト

必須: いいえ

## OnDeviceServiceConfiguration

転送されたデータをエクスポートまたはインポートする Snow Family デバイスのサービスを指定します。AWS Snow Family デバイスクラスターは Amazon S3 と NFS (ネットワークファイルシステム) をサポートしています。

型: [OnDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## Resources

更新された [S3Resource](#) オブジェクトまたは [LambdaResource](#) オブジェクトを含むことができる [JobResource](#) オブジェクトの更新された配列。

型: [JobResource](#) オブジェクト

必須: いいえ

## RoleARN

このクラスターに関連付ける新しいロール Amazon リソースネーム (ARN)。ロールを作成するにはARN、AWS Identity and Access Management () で [CreateRole](#) APIアクションを使用します IAM。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:iam::[0-9]{12}:role/.*`

必須: いいえ

## ShippingOption

このクラスターの [ShippingDetails](#) オブジェクトの更新された出荷オプションの値。

型: 文字列

有効な値: SECOND\_DAY | NEXT\_DAY | EXPRESS | STANDARD

必須: いいえ

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは空のHTTP本文で 200 HTTP レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### Ec2RequestFailedException

ユーザーには、試行されたアクションを実行するために必要な Amazon アクセスEC2許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidInputCombinationException

ジョブまたはクラスターの作成に失敗しました。1つ以上の入力が無効です。[CreateCluster : SnowballType](#) 値が [CreateJob : JobType](#) をサポートしていることを確認し、再試行してください。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

### KMSRequestFailedException

指定された AWS Key Management Service キーには、指定された [CreateJob](#) または [UpdateJob](#) アクションを実行するアクセス許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## UpdateJob

サービス : AWS Snowball Edge

ジョブの JobState 値が New であるときは、ジョブに関連付けられた情報の一部を更新できます。ジョブが別のジョブの状態 ( 通常はジョブが作成されてから 60 分以内 ) に変更されると、このアクションは使用できなくなります。

### リクエストの構文

```
{
  "AddressId": "string",
  "Description": "string",
  "ForwardingAddressId": "string",
  "JobId": "string",
  "Notification": {
    "DevicePickupSnsTopicARN": "string",
    "JobStatesToNotify": [ "string" ],
    "NotifyAll": boolean,
    "SnsTopicARN": "string"
  },
  "OnDeviceServiceConfiguration": {
    "EKSONDeviceService": {
      "EKSAnywhereVersion": "string",
      "KubernetesVersion": "string"
    },
    "NFSOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "S3OnDeviceService": {
      "FaultTolerance": number,
      "ServiceSize": number,
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    },
    "TGWOnDeviceService": {
      "StorageLimit": number,
      "StorageUnit": "string"
    }
  },
  "PickupDetails": {
    "DevicePickupId": "string",
    "Email": "string",
  }
}
```

```
    "IdentificationExpirationDate": number,
    "IdentificationIssuingOrg": "string",
    "IdentificationNumber": "string",
    "Name": "string",
    "PhoneNumber": "string"
  },
  "Resources": {
    "Ec2AmiResources": [
      {
        "AmiId": "string",
        "SnowballAmiId": "string"
      }
    ],
    "LambdaResources": [
      {
        "EventTriggers": [
          {
            "EventResourceARN": "string"
          }
        ],
        "LambdaArn": "string"
      }
    ],
    "S3Resources": [
      {
        "BucketArn": "string",
        "KeyRange": {
          "BeginMarker": "string",
          "EndMarker": "string"
        },
        "TargetOnDeviceServices": [
          {
            "ServiceName": "string",
            "TransferOption": "string"
          }
        ]
      }
    ]
  },
  "RoleARN": "string",
  "ShippingOption": "string",
  "SnowballCapacityPreference": "string"
}
```

## リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

### AddressId

更新された [Address](#) オブジェクトのID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

### Description

このジョブの [JobMetadata](#) オブジェクトの更新された説明。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### ForwardingAddressId

このフィールドは、お住まいのリージョンではサポートされていません。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

## JobId

更新するジョブのジョブ ID。たとえば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: はい

## Notification

新規または更新された [Notification](#) オブジェクト。

型: [Notification](#) オブジェクト

必須: いいえ

## OnDeviceServiceConfiguration

転送されたデータをエクスポートまたはインポートする Snow Family デバイスのサービスを指定します。AWS Snow Family は Amazon S3 と NFS (ネットワークファイルシステム)、および AWS Storage Gateway サービステープゲートウェイタイプをサポートしています。

型: [OnDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## PickupDetails

デバイスを受け取る人を識別する情報。

型: [PickupDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

## Resources

更新された JobResource オブジェクト、または更新された [JobResource](#) オブジェクト。

型: [JobResource](#) オブジェクト

必須: いいえ

## RoleARN

このジョブに関連付ける新しいロール Amazon リソースネーム (ARN) 。ロールを作成するには ARN、 [CreateRole](#) AWS Identity and Access Management (IAM) APIアクションを使用します。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:iam::[0-9]{12}:role/.*`

必須: いいえ

## ShippingOption

このジョブの [ShippingDetails](#) オブジェクトの更新された配送オプションの値。

型: 文字列

有効な値: SECOND\_DAY | NEXT\_DAY | EXPRESS | STANDARD

必須: いいえ

## SnowballCapacityPreference

このジョブの [JobMetadata](#) オブジェクトの更新された SnowballCapacityPreference。50 TB Snowballは、米国リージョンでのみご利用いただけます。

Snow ファミリーデバイスの種類については、Snowcone ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)またはSnowball Edge ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)を参照してください。

型: 文字列

有効な値: T50 | T80 | T100 | T42 | T98 | T8 | T14 | T32 | NoPreference | T240 | T13

必須: いいえ

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは空のHTTP本文で 200 HTTP レスポンスを送り返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### ClusterLimitExceededException

ジョブ作成に失敗しました。現在、クラスターは 5 つのノードをサポートしています。クラスターのノードが 5 つ未満で、このクラスター用に作成するノードの数がそれより多い場合は、クラスターのノードがちょうど 5 つになるまでジョブを作成し直してください。

HTTP ステータスコード: 400

### Ec2RequestFailedException

ユーザーには、試行されたアクションを実行するために必要な Amazon アクセス EC2 許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidInputCombinationException

ジョブまたはクラスターの作成に失敗しました。1 つ以上の入力が無効です。[CreateCluster : SnowballType](#) 値が [CreateJob : JobType](#) をサポートしていることを確認し、再試行してください。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

### KMSRequestFailedException

指定された AWS Key Management Service キーには、指定された [CreateJob](#) または [UpdateJob](#) アクションを実行するアクセス許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## UpdateJobShipmentState

サービス : AWS Snowball Edge

出荷の状態が別の状態に変わったときに、状態を更新します。

### リクエストの構文

```
{
  "JobId": "string",
  "ShipmentState": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### JobId

出荷日を更新するジョブのジョブ ID。たとえば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

Pattern: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須 : はい

#### ShipmentState

デバイスの出荷時の状態。

デバイスがお客様のロケーションに到着したとき、RECEIVED に設定します。

デバイスを AWS に返却したとき、RETURNED に設定します。

型: 文字列

有効な値: RECEIVED | RETURNED

必須: はい

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは空のHTTP本文で 200 HTTP レスポンスを送り返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidJobStateException

ジョブの現在の状態ではそのアクションの実行が許可されていないため、アクションを実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)

- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## UpdateLongTermPricing

サービス : AWS Snowball Edge

長期料金タイプを更新します。

### リクエストの構文

```
{
  "IsLongTermPricingAutoRenew": boolean,
  "LongTermPricingId": "string",
  "ReplacementJob": "string"
}
```

### リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### [IsLongTermPricingAutoRenew](#)

true に設定されている場合、長期価格契約の有効期限が切れる前に、デバイスの現在の長期価格タイプが自動的に更新されるように指定します。

型: ブール値

必須: いいえ

#### [LongTermPricingId](#)

デバイスの長期価格タイプの ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 41 です。

Pattern: LTPID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: はい

#### [ReplacementJob](#)

長期料金で注文されたデバイスを新しいデバイスに置き換えるように指定します。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

パターン: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは空のHTTP本文で 200 HTTP レスポンスを送り返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InvalidResourceException

指定されたリソースが見つかりません。前回のリクエストで入力した情報をチェックし、もう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の .NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# AWS Snowball Edge Device Management

AWS Snowball Edge Device Management によって以下のアクションがサポートされています。

- [CancelTask](#)
- [CreateTask](#)
- [DescribeDevice](#)
- [DescribeDeviceEc2Instances](#)
- [DescribeExecution](#)
- [DescribeTask](#)
- [ListDeviceResources](#)
- [ListDevices](#)
- [ListExecutions](#)
- [ListTagsForResource](#)
- [ListTasks](#)
- [TagResource](#)
- [UntagResource](#)

# CancelTask

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

指定したタスクのキャンセル要求を送信します。まだタスクが QUEUED 状態の場合にのみタスクをキャンセルできます。既に実行中のタスクは、キャンセルできません。

## Note

CancelTask オペレーションがタスクの状態を変更する前にタスクがキューから処理された場合、タスクが実行されることがあります。

## リクエストの構文

```
POST /task/taskId/cancel HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次のURIパラメータを使用します。

### taskId

キャンセルしようとしているタスクの ID。ListTasks オペレーションでタスク ID を取得することができます。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "taskId": "string"
}
```

```
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### taskId

キャンセルしようとしているタスクの ID。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

リクエストのロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# CreateTask

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

ロック解除や再起動などのタスクを開始するように 1 つ以上のデバイスに指示します。

## リクエストの構文

```
POST /task HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "clientToken": "string",
  "command": { ... },
  "description": "string",
  "tags": {
    "string" : "string"
  },
  "targets": [ "string" ]
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストはURIパラメータを使用しません。

## リクエスト本文

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

### clientToken

指定された詳細でアクションが一度だけ呼び出されることを保証するトークン。

型: 文字列

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

パターン: `^[!-~]+$`

必須: いいえ

### command

実行するタスク。一度に 1 つのデバイスで実行されるタスクは 1 つだけです。

型: [Command](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: はい

### [description](#)

タスクとそのターゲットの説明。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 128 です。

Pattern: `^[A-Za-z0-9 _.,!#]*$`

必須: いいえ

### [tags](#)

リソースに割り当てるオプションのメタデータ。タグを使用し、目的、所有者、環境などのさまざまな方法でリソースを分類できます。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

### [targets](#)

マネージドデバイスのリストIDs。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 10 項目です。

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "taskArn": "string",
  "taskId": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### taskArn

作成したタスクの Amazon リソースネーム (ARN)。

型: 文字列

### taskId

作成したタスクの ID。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

## ServiceQuotaExceededException

リクエストにより、サービスクォータが超過します。

HTTP ステータスコード: 402

## ThrottlingException

リクエストのスロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DescribeDevice

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスタイプ、ソフトウェアバージョン、IP アドレス、およびロックステータスなど、デバイス固有の情報をチェックします。

### リクエストの構文

```
POST /managed-device/managedDeviceId/describe HTTP/1.1
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストは、次のURIパラメータを使用します。

#### managedDeviceId

情報をチェックしているデバイスの ID。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : はい

### リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

### レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "associatedWithJob": "string",
  "deviceCapacities": [
    {
      "available": number,
      "name": "string",
      "total": number,
      "unit": "string",
      "used": number
    }
  ]
}
```

```
    }
  ],
  "deviceState": "string",
  "deviceType": "string",
  "lastReachedOutAt": number,
  "lastUpdatedAt": number,
  "managedDeviceArn": "string",
  "managedDeviceId": "string",
  "physicalNetworkInterfaces": [
    {
      "defaultGateway": "string",
      "ipAddress": "string",
      "ipAddressAssignment": "string",
      "macAddress": "string",
      "netmask": "string",
      "physicalConnectorType": "string",
      "physicalNetworkInterfaceId": "string"
    }
  ],
  "software": {
    "installedVersion": "string",
    "installingVersion": "string",
    "installState": "string"
  },
  "tags": {
    "string" : "string"
  }
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### [associatedWithJob](#)

デバイスの注文時に使用されるジョブの ID。

型: 文字列

### [deviceCapacities](#)

デバイスのハードウェア仕様。

型: [Capacity](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最小数は 0 項目です。最大数は 100 項目です。

### [deviceState](#)

デバイスの現在の状態。

型: 文字列

有効な値: UNLOCKED | LOCKED | UNLOCKING

### [deviceType](#)

AWS Snow Family デバイスのタイプ。

型: 文字列

### [lastReachedOutAt](#)

デバイスが最後に AWS クラウドに連絡した日時。デバイスがオンラインであることを示します。

型: タイムスタンプ

### [lastUpdatedAt](#)

デバイスが最後にアップデートを AWS クラウドにプッシュした日時。デバイスキャッシュがいつ更新されたかを示します。

型: タイムスタンプ

### [managedDeviceArn](#)

デバイスの Amazon リソースネーム (ARN)。

型: 文字列

### [managedDeviceId](#)

情報をチェックしたデバイスの ID。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

### [physicalNetworkInterfaces](#)

デバイスで使用可能なネットワークインターフェイス。

型: [PhysicalNetworkInterface](#) オブジェクトの配列

## [software](#)

デバイスにインストールされているソフトウェア。

型: [SoftwareInformation](#) オブジェクト

## [tags](#)

リソースに割り当てるオプションのメタデータ。タグを使用し、目的、所有者、環境などのさまざまな方法でリソースを分類できます。

型: 文字列間のマッピング

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

リクエストのロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DescribeDeviceEc2Instances

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

Amazon EC2互換インスタンスの現在の状態を確認します。出力は describeDevice に類似していますが、結果は AWS クラウド のデバイス・ キャッシュから取得され、使用可能なフィールドのサブセットを含めます。

### リクエストの構文

```
POST /managed-device/managedDeviceId/resources/ec2/describe HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "instanceIds": [ "string" ]
}
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次のURIパラメータを使用します。

#### managedDeviceId

管理対象デバイスの ID。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : はい

### リクエストボディ

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

#### instanceIds

マネージドデバイスIDsに関連付けられたインスタンスのリスト。

型: 文字列の配列

必須 : はい

## レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

Content-type: application/json

```
{
  "instances": [
    {
      "instance": {
        "amiLaunchIndex": number,
        "blockDeviceMappings": [
          {
            "deviceName": "string",
            "ebs": {
              "attachTime": number,
              "deleteOnTermination": boolean,
              "status": "string",
              "volumeId": "string"
            }
          }
        ],
        "cpuOptions": {
          "coreCount": number,
          "threadsPerCore": number
        },
        "createdAt": number,
        "imageId": "string",
        "instanceId": "string",
        "instanceType": "string",
        "privateIpAddress": "string",
        "publicIpAddress": "string",
        "rootDeviceName": "string",
        "securityGroups": [
          {
            "groupId": "string",
            "groupName": "string"
          }
        ],
        "state": {
          "code": number,
          "name": "string"
        },
        "updatedAt": number
      }
    }
  ]
}
```

```
    },  
    "lastUpdatedAt": number  
  }  
]  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### instances

各インスタンスに関する情報を含む構造のリスト。

型: InstanceSummary オブジェクトの配列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「共通エラー」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

リクエストのロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DescribeExecution

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

1つ以上のターゲットデバイスで実行されているリモートタスクのステータスをチェックします。

### リクエストの構文

```
POST /task/taskId/execution/managedDeviceId HTTP/1.1
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストは、次のURIパラメータを使用します。

#### [managedDeviceId](#)

管理対象デバイスの ID。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : はい

#### [taskId](#)

アクションが記述しているタスクの ID。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : はい

### リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

### レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "executionId": string,
  "lastUpdatedAt": number,
```

```
"managedDeviceId": "string",  
"startedAt": number,  
"state": "string",  
"taskId": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### executionId

実行の ID。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

### lastUpdatedAt

実行ステータスが最後に更新された日時。

型: タイムスタンプ

### managedDeviceId

タスクが実行されている管理対象デバイスの ID。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

### startedAt

実行が始まった日時。

型: タイムスタンプ

### state

現在の実行の状態。

型: 文字列

有効な値: QUEUED | IN\_PROGRESS | CANCELED | FAILED | SUCCEEDED | REJECTED  
| TIMED\_OUT

### taskId

デバイスで実行されているタスクの ID。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

リクエストのロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DescribeTask

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイス上の指定のタスクのメタデータをチェックします。

### リクエストの構文

```
POST /task/taskId HTTP/1.1
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストは、次のURIパラメータを使用します。

#### taskId

説明するタスクの ID。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : はい

### リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

### レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200  
Content-type: application/json
```

```
{  
  "completedAt": number,  
  "createdAt": number,  
  "description": "string",  
  "lastUpdatedAt": number,  
  "state": "string",  
  "tags": {  
    "string" : "string"  
  },  
  "targets": [ "string" ],  
  "taskArn": "string",
```

```
"taskId": "string"  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### completedAt

タスクが完了した日時。

型: タイムスタンプ

### createdAt

CreateTask オペレーションが呼び出された日時。

型: タイムスタンプ

### description

タスクおよび管理対象デバイスの説明。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 128 です。

Pattern: `^[A-Za-z0-9 _.,!#]*$`

### lastUpdatedAt

タスクの状態が最後に更新された日時。

型: タイムスタンプ

### state

タスクの現在の状態。

型: 文字列

有効な値: IN\_PROGRESS | CANCELED | COMPLETED

## tags

リソースに割り当てるオプションのメタデータ。タグを使用し、目的、所有者、環境などのさまざまな方法でリソースを分類できます。

型: 文字列間のマッピング

## targets

タスクが送信された管理対象デバイス。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 10 項目です。

## taskArn

タスクの Amazon リソースネーム (ARN)。

型: 文字列

## taskId

タスクの ID。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

リクエストのスロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の場合。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListDeviceResources

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスで使用できる AWS リソースのリストを返します。現在、Amazon EC2インスタンスのみがサポートされているリソースタイプです。

### リクエストの構文

```
GET /managed-device/managedDeviceId/resources?  
maxResults=maxResults&nextToken=nextToken&type=type HTTP/1.1
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次のURIパラメータを使用します。

#### managedDeviceId

リソースをリストしている管理対象デバイスの ID。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : はい

#### maxResults

1 ページあたりのリソースの最大数。

有効範囲: 最小値は 1 です。最大値は 100 です。

#### nextToken

結果の次ページに進むページ割リトークン。

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: `^[a-zA-Z0-9+/=]*$`

#### type

結果をリソースのタイプ別にフィルタリングするために使用される構造。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 50 です。

## リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "nextToken": "string",
  "resources": [
    {
      "arn": "string",
      "id": "string",
      "resourceType": "string"
    }
  ]
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### [nextToken](#)

結果の次ページに進むページ割りトークン。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: `^[a-zA-Z0-9+/=]*$`

### [resources](#)

リソースのタイプ、Amazon リソースネーム (ARN)、および ID を定義する構造。

型: [ResourceSummary](#) オブジェクトの配列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerErrorException

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

リクエストのスロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)

- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListDevices

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

コマンドが実行され AWS アカウント ている で AWS Snow Device Management が有効になってい AWS リージョン 上 のすべてのデバイスのリストを返します。

### リクエストの構文

```
GET /managed-devices?jobId=jobId&maxResults=maxResults&nextToken=nextToken HTTP/1.1
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次のURIパラメータを使用します。

#### jobId

デバイスを注文するために使用するジョブの ID。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

#### maxResults

1 ページあたりにリストするデバイスの最大数。

有効範囲: 最小値は 1 です。最大値は 100 です。

#### nextToken

結果の次ページに進むページ割りトークン。

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: `^[a-zA-Z0-9+/=]*$`

### リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

### レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200  
Content-type: application/json
```

```
{
  "devices": [
    {
      "associatedWithJob": "string",
      "managedDeviceArn": "string",
      "managedDeviceId": "string",
      "tags": {
        "string" : "string"
      }
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### devices

デバイスに関する情報を含むデバイス構造のリスト。

型: [DeviceSummary](#) オブジェクトの配列

### nextToken

デバイスの次ページに進むページ割りトークン。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: `^[a-zA-Z0-9+/=]*$`

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

#### InternalServerErrorException

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

#### ThrottlingException

リクエストのロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

#### ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListExecutions

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

1 つ以上のターゲットデバイスのタスクのステータスを返します。

### リクエストの構文

```
GET /executions?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken&state=state&taskId=taskId
HTTP/1.1
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次のURIパラメータを使用します。

#### [maxResults](#)

1 ページあたりにリストするタスクの最大数。

有効範囲: 最小値は 1 です。最大値は 100 です。

#### [nextToken](#)

次ページのタスクに進むページ割りトークン。

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: `^[a-zA-Z0-9+/=]*$`

#### [state](#)

タスクを現在の状態でフィルタリングするために使用される構造。

有効な値: QUEUED | IN\_PROGRESS | CANCELED | FAILED | SUCCEEDED | REJECTED  
| TIMED\_OUT

#### [taskId](#)

タスクの ID。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "executions": [
    {
      "executionId": "string",
      "managedDeviceId": "string",
      "state": "string",
      "taskId": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### executions

実行のリスト。各実行には、タスク ID、タスクが実行されているデバイス、実行 ID、および実行のステータスが含まれます。

型: [ExecutionSummary](#) オブジェクトの配列

### nextToken

次ページの実行を続行するためのページ割りトークン。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: `^[a-zA-Z0-9+/=]*$`

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

リクエストのロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)

- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListTagsForResource

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

管理対象デバイスまたはタスクのタグのリストを返します。

### リクエストの構文

```
GET /tags/resourceArn HTTP/1.1
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次のURIパラメータを使用します。

#### resourceArn

デバイスまたはタスクの Amazon リソースネーム (ARN) 。

必須 : はい

### リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

### レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "tags": {
    "string" : "string"
  }
}
```

### レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

## [tags](#)

デバイスまたはタスクのタグのリスト。

型: 文字列間のマッピング

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### InternalServerErrorException

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

### ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の場合。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)

- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ListTasks

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

状態別にフィルタリングできるタスクのリストを返します。

### リクエストの構文

```
GET /tasks?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken&state=state HTTP/1.1
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストは、次のURIパラメータを使用します。

#### [maxResults](#)

1 ページあたりのタスクの最大数。

有効範囲: 最小値は 1 です。最大値は 100 です。

#### [nextToken](#)

次ページのタスクに進むページ割りトークン。

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: `^[a-zA-Z0-9+/=]*$`

#### [state](#)

タスクのリストをフィルタリングするために使用される構造。

有効な値: IN\_PROGRESS | CANCELED | COMPLETED

### リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

### レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200  
Content-type: application/json
```

```
{
  "nextToken": "string",
  "tasks": [
    {
      "state": "string",
      "tags": {
        "string" : "string"
      },
      "taskArn": "string",
      "taskId": "string"
    }
  ]
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを送り返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

### [nextToken](#)

次ページのタスクに進むページ割りトークン。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

Pattern: `^[a-zA-Z0-9+/=]*$`

### [tasks](#)

各タスクの詳細を含むタスク構造のリスト。

型: [TaskSummary](#) オブジェクトの配列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

#### InternalServerError

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

#### ThrottlingException

リクエストのロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 429

#### ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# TagResource

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスまたはタスクのタグを追加または置き換えます。

## リクエストの構文

```
POST /tags/resourceArn HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "tags": {
    "string" : "string"
  }
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次のURIパラメータを使用します。

### resourceArn

デバイスまたはタスクの Amazon リソースネーム (ARN) 。

必須 : はい

## リクエストボディ

リクエストは、次のJSON形式のデータを受け入れます。

### tags

リソースに割り当てるオプションのメタデータ。タグを使用し、目的、所有者、環境などのさまざまな方法でリソースを分類できます。

型: 文字列間のマッピング

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

### レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは空のHTTP本文で 200 HTTP レスポンスを返します。

### エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

#### InternalServerErrorException

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

#### ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

#### ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)

- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## UntagResource

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスまたはタスクからタグを削除します。

### リクエストの構文

```
DELETE /tags/resourceArn?tagKeys=tagKeys HTTP/1.1
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストは、次のURIパラメータを使用します。

#### [resourceArn](#)

デバイスまたはタスクの Amazon リソースネーム (ARN)。

必須 : はい

#### [tagKeys](#)

リソースに割り当てるオプションのメタデータ。タグを使用すると、目的、所有者、環境などのさまざまな方法でリソースを分類できます。

必須 : はい

### リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

### レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

### レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは空のHTTP本文で 200 HTTP レスポンスを送り返します。

### エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## InternalServerErrorException

リクエストの処理中に予期しないエラーが発生しました。

HTTP ステータスコード: 500

## ResourceNotFoundException

リクエストは、存在しないリソースを参照しています。

HTTP ステータスコード: 404

## ValidationException

入力が AWS サービスで指定された制約を満たさない。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 の場合](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用](#)
- [AWS SDK Python 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# データ型

AWS Snowball Edge によって以下のデータ型がサポートされています。

- [Address](#)
- [ClusterListEntry](#)
- [ClusterMetadata](#)
- [CompatibleImage](#)
- [DataTransfer](#)
- [DependentService](#)
- [DeviceConfiguration](#)
- [Ec2AmiResource](#)
- [EKSONDeviceServiceConfiguration](#)
- [EventTriggerDefinition](#)
- [INDTaxDocuments](#)
- [JobListEntry](#)
- [JobLogs](#)
- [JobMetadata](#)
- [JobResource](#)
- [KeyRange](#)
- [LambdaResource](#)
- [LongTermPricingListEntry](#)
- [NFSOnDeviceServiceConfiguration](#)
- [Notification](#)
- [OnDeviceServiceConfiguration](#)
- [PickupDetails](#)
- [S3OnDeviceServiceConfiguration](#)
- [S3Resource](#)
- [ServiceVersion](#)
- [Shipment](#)
- [ShippingDetails](#)

- [SnowconeDeviceConfiguration](#)
- [TargetOnDeviceService](#)
- [TaxDocuments](#)
- [TGWOnDeviceServiceConfiguration](#)
- [WirelessConnection](#)

AWS Snowball Edge Device Management によって以下のデータ型がサポートされています。

- [Capacity](#)
- [Command](#)
- [CpuOptions](#)
- [DeviceSummary](#)
- [EbsInstanceBlockDevice](#)
- [ExecutionSummary](#)
- [Instance](#)
- [InstanceBlockDeviceMapping](#)
- [InstanceState](#)
- [InstanceSummary](#)
- [PhysicalNetworkInterface](#)
- [Reboot](#)
- [ResourceSummary](#)
- [SecurityGroupIdentifier](#)
- [SoftwareInformation](#)
- [TaskSummary](#)
- [Unlock](#)

## AWS Snowball Edge

AWS Snowball Edge によって以下のデータ型がサポートされています。

- [Address](#)
- [ClusterListEntry](#)

- [ClusterMetadata](#)
- [CompatibleImage](#)
- [DataTransfer](#)
- [DependentService](#)
- [DeviceConfiguration](#)
- [Ec2AmiResource](#)
- [EKSONDeviceServiceConfiguration](#)
- [EventTriggerDefinition](#)
- [INDTaxDocuments](#)
- [JobListEntry](#)
- [JobLogs](#)
- [JobMetadata](#)
- [JobResource](#)
- [KeyRange](#)
- [LambdaResource](#)
- [LongTermPricingListEntry](#)
- [NFSOnDeviceServiceConfiguration](#)
- [Notification](#)
- [OnDeviceServiceConfiguration](#)
- [PickupDetails](#)
- [S3OnDeviceServiceConfiguration](#)
- [S3Resource](#)
- [ServiceVersion](#)
- [Shipment](#)
- [ShippingDetails](#)
- [SnowconeDeviceConfiguration](#)
- [TargetOnDeviceService](#)
- [TaxDocuments](#)
- [TGWOnDeviceServiceConfiguration](#)
- [WirelessConnection](#)



## Address

サービス : AWS Snowball Edge

特定のジョブに関連付けられた Snow デバイスを出荷する住所。住所は、作成時に検証されます。指定する住所は、お住まいのリージョンのサービスエリア内に存在する必要があります。Address の個々の要素は必要ありませんが、住所が無効またはサポートされていない場合は、例外がスローされます。

### 内容

#### AddressId

住所の一意の ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

#### City

Snow デバイスが配送される住所の都市。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### Company

Snow デバイスを受け取る住所の会社の名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## Country

Snow デバイスが配送される住所の国。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## IsRestricted

このフィールドは、お住まいのリージョンではサポートされていません。

型: ブール値

必須: いいえ

## Landmark

このフィールドは使用されなくなり、値は無視されます。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## Name

Snow デバイスを受け取る住所の人の名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## PhoneNumber

Snow デバイスが配送される住所に関連付けられている電話番号。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## PostalCode

Snow デバイスが配送される住所の郵便番号。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## PrefectureOrDistrict

このフィールドは使用されなくなり、値は無視されます。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## StateOrProvince

Snow デバイスが配送される住所の州または県。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### Street1

Snow デバイスが配送される住所の最初の行です。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### Street2

Snow デバイスが配送される住所の 2 行目です。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### Street3

Snow デバイスが配送される住所の 3 行目です。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### Type

ユーザーアカウントの配送先住所と受け取り住所を区別します。ジョブ作成時に提供されます。

型: 文字列

有効な値: CUST\_PICKUP | AWS\_SHIP

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ClusterListEntry

サービス : AWS Snowball Edge

クラスターの状態、クラスターの ID、およびその他の重要な情報が含まれています。

### 内容

#### ClusterId

リスト表示するクラスターの 39 文字の ID。たとえば CID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000 など。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### ClusterState

このクラスターの現在の状態。特定のノードの状態については、[JobListEntryJobState](#) 「」を参照してください。

型: 文字列

有効な値: AwaitingQuorum | Pending | InUse | Complete | Cancelled

必須 : いいえ

#### CreationDate

このクラスターの作成日。

型: タイムスタンプ

必須 : いいえ

#### Description

クラスターの説明を任意で定義します。たとえば、Environmental Data Cluster-01 などです。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ClusterMetadata

サービス : AWS Snowball Edge

特定のクラスターに関するメタデータが含まれています。

### 内容

#### AddressId

特定の住所に対して自動生成された ID です。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

#### ClusterId

クラスター用に自動生成された ID です。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### ClusterState

クラスターの現在の状態。

型: 文字列

有効な値: AwaitingQuorum | Pending | InUse | Complete | Cancelled

必須 : いいえ

#### CreationDate

このクラスターの作成日。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

### Description

クラスターの説明 ( 任意 ) 。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### ForwardingAddressId

このフィールドは、お住まいのリージョンではサポートされていません。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

### JobType

このクラスターのジョブのタイプ。現在、クラスターでサポートされているジョブタイプは LOCAL\_USE のみです。

型: 文字列

有効な値: IMPORT | EXPORT | LOCAL\_USE

必須: いいえ

### KmsKeyARN

このクラスターに関連付けられている KmsKeyARN Amazon リソースネーム (ARN) 。これは、AWS Key Management Service ( ) の [CreateKey](#) API アクションを使用して作成ARNされました AWS KMS。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:kms:.*:[0-9]{12}:key/.*`

必須: いいえ

## Notification

このクラスターの Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) 通知設定。

型: [Notification](#) オブジェクト

必須: いいえ

## OnDeviceServiceConfiguration

AWS Snow Family デバイス上のサービスのメタデータと設定を表します。

型: [OnDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## Resources

更新された [S3Resource](#) オブジェクトまたは [LambdaResource](#) オブジェクトを含むことができる [JobResource](#) オブジェクトの配列。

型: [JobResource](#) オブジェクト

必須: いいえ

## RoleARN

このクラスターARNに関連付けられているロール。これは AWS Identity and Access Management () の [CreateRole](#) API アクションを使用して作成ARNされましたIAM。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:iam:.*:[0-9]{12}:role/.*`

必須: いいえ

## ShippingOption

このクラスターの各ノードの配送速度。この速度は、各デバイスをどれくらい早く入手できるかではなく、転送中に各デバイスが目的地に移動する速さを表します。リージョンの配送速度は次のとおりです。

- オーストラリアでは、至急便を利用できます。通常、至急便で発送されたデバイスは約 1 日で配送されます。
- 欧州連合 (EU) では、至急便を利用できます。通常、至急便で発送された Snow デバイスは約 1 日で配送されます。また、EU のほとんどの国で通常便も利用できます。こちらは通常片道 1 週間以内です。
- インドでは、Snow デバイスが 1~7 日で配送されます。
- 米国では、翌日配送と 翌々日配送を利用できます。

型: 文字列

有効な値: SECOND\_DAY | NEXT\_DAY | EXPRESS | STANDARD

必須: いいえ

## SnowballType

このクラスターで使用する Snowcone デバイスのタイプ。

### Note

クラスタージョブの場合、AWS Snow Family は現在EDGEデバイスタイプのみをサポートしています。

型: 文字列

有効な値: STANDARD | EDGE | EDGE\_C | EDGE\_CG | EDGE\_S | SNC1\_HDD | SNC1\_SSD | V3\_5C | V3\_5S | RACK\_5U\_C

必須: いいえ

## TaxDocuments

に必要な税金ドキュメント AWS リージョン。

型: [TaxDocuments](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## CompatibleImage

サービス : AWS Snowball Edge

Snow デバイスの ID と名前を含む、互換性のある Amazon マシンイメージ (AMI) を記述する JSON フォーマットされたオブジェクトAMI。これはデバイスの物理ハードウェア要件とAMI互換性があり、デバイスのSBE1インスタンスで実行できるはずです。

### 内容

#### Amild

個々の Snow デバイスの一意の識別子AMI。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### Name

互換性のあるイメージの名前 (任意)。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)



## DataTransfer

サービス : AWS Snowball Edge

デバイスが AWS にある際の Snow デバイスのデータ転送のリアルタイムステータスを定義します。このデータを利用できるのは、インポートジョブおよびエクスポートジョブの JobState の値が InProgress である場合のみです。

### 内容

#### BytesTransferred

Snow デバイスと Amazon S3 の間で転送されるバイト数。

型: Long

必須 : いいえ

#### ObjectsTransferred

Snow デバイスと Amazon S3 の間で転送されるオブジェクトの数。

型: Long

必須 : いいえ

#### TotalBytes

Snow デバイスと Amazon S3 の間で転送するデータの総バイト数。この値は、転送されるすべてのキーがリストされるまで 0 (ゼロ) に設定されます。

型: Long

必須 : いいえ

#### TotalObjects

Snow デバイスと Amazon S3 の間で転送するオブジェクトの総数。この値は、転送されるすべてのキーがリストされるまで 0 (ゼロ) に設定されます。

型: Long

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DependentService

サービス : AWS Snowball Edge

サービスの名前とバージョンは、リクエストされたサービスによって異なります。

### 内容

#### ServiceName

依存サービスの名前。

型: 文字列

有効な値: KUBERNETES | EKS\_ANYWHERE

必須 : いいえ

#### ServiceVersion

依存サービスのバージョン。

型: [ServiceVersion](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# DeviceConfiguration

サービス : AWS Snowball Edge

SnowconeDeviceConfiguration のコンテナ。

## 内容

SnowconeDeviceConfiguration

AWS Snowball Edge ジョブのデバイス設定に関する情報を返します。

型: [SnowconeDeviceConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## Ec2AmiResource

サービス : AWS Snowball Edge

Amazon EC2互換 AMI ID と Snow デバイス AMI ID を含む、Amazon マシンイメージ (AMI) IDsの を含むJSONフォーマットされたオブジェクト。それぞれにこれら 2 つAMIがありIDs、デバイス上の AWS クラウド と AMIの両方で を簡単に識別できます。

### 内容

#### Amild

Amazon AMIの の IDEC2。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 12 です。最大長は 21 です。

Pattern: (ami-[0-9a-f]{8})|(ami-[0-9a-f]{17})

必須 : はい

#### SnowballAmild

AMI Snow デバイスの の ID。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)



# EKSONDeviceServiceConfiguration

サービス : AWS Snowball Edge

Snow Family デバイスの EKS Anywhere のメタデータと設定を表すオブジェクト。

## 内容

### EKSAnywhereVersion

Snow Family デバイスの EKS Anywhere のオプションバージョン。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### KubernetesVersion

Snow Family デバイス上の EKS Anywhere の Kubernetes バージョン。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# EventTriggerDefinition

サービス : AWS Snowball Edge

[EventTriggerDefinition](#) : [EventResourceARN](#) のコンテナ。

## 内容

### EventResourceARN

このジョブに関連付けられた AWS Lambda 関数のイベントトリガーであるローカル Amazon S3 リソースの Amazon リソースネーム (ARN) 。

型: 文字列

長さの制限 : 最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:*`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## INDTaxDocuments

サービス : AWS Snowball Edge

インド AWS リージョン でに必要な税金書類。

### 内容

#### GSTIN

インド AWS リージョン でに必要な物品サービス税 (GST) ドキュメント。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 15 です。

パターン: `\d{2}[A-Z]{5}\d{4}[A-Z]{1}[A-Z\d]{1}[Z]{1}[A-Z\d]{1}`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## JobListEntry

サービス : AWS Snowball Edge

各 JobListEntry オブジェクトには、ジョブの状態、ジョブの ID、およびエクスポートジョブの場合にジョブがジョブパートであるかどうかを示す値が含まれます。

### 内容

#### CreationDate

このジョブの作成日。

型: タイムスタンプ

必須 : いいえ

#### Description

この特定のジョブの説明 (任意)。たとえば Important Photos 2016-08-11 など。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### IsMaster

このジョブがメインジョブであることを示す値。メインジョブは、エクスポートジョブを作成するリクエストの成功を表します。メインジョブは、Snowball に関連付けられません。代わりに、各メインジョブは少なくとも 1 つのジョブパートを持ち、各ジョブパートは Snowball に関連付けられます。特定のメインジョブに関連付けられているジョブパートがリストされるまでに時間がかかることがあります。これは、ジョブパートがメインジョブの作成後に作成されるためです。

型: ブール値

必須 : いいえ

#### JobId

ジョブに対して自動生成された ID。たとえば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### JobState

このジョブの現在の状態。

型: 文字列

有効な値: New | PreparingAppliance | PreparingShipment |  
InTransitToCustomer | WithCustomer | InTransitToAWS |  
WithAWSSortingFacility | WithAWS | InProgress | Complete | Cancelled |  
Listing | Pending

必須: いいえ

#### JobType

ジョブのタイプ。

型: 文字列

有効な値: IMPORT | EXPORT | LOCAL\_USE

必須: いいえ

#### SnowballType

このジョブで使用されるデバイスのタイプ。

型: 文字列

有効な値: STANDARD | EDGE | EDGE\_C | EDGE\_CG | EDGE\_S | SNC1\_HDD |  
SNC1\_SSD | V3\_5C | V3\_5S | RACK\_5U\_C

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## JobLogs

サービス : AWS Snowball Edge

ジョブのログが含まれます。Snow デバイスが Amazon S3 へのデータのインポートまたは Amazon S3 からのデータのエクスポートに使用されるたびに、PDFジョブレポートをダウンロードするオプションがあります。ジョブログは、DescribeJob アクションのレスポンス構文の一部として JobMetadata データ型で返されます。ジョブログには、このリクエストが作成されてから最大 60 分間アクセスできます。60 分が経過した後にジョブログにアクセスするには、DescribeJob アクションを再度呼び出す必要があります。

インポートジョブの場合、PDFジョブレポートはインポートプロセスの最後に利用可能になります。エクスポートジョブの場合、ジョブレポートは通常、ジョブパート用の Snow デバイスがお客様に配送されている間に使用できるようになります。

ジョブレポートには、Amazon S3 データ転送の状態の詳細が記載されています。レポートには、お客様の記録用にジョブまたはジョブパートの詳細が含まれています。

転送されたオブジェクトのステータスに関するより詳細な可視記録は、2 つの関連ログ、成功ログと失敗ログで確認できます。ログはカンマ区切りの値 (CSV) 形式で保存され、各ログの名前には、ログが記述するジョブまたはジョブパートの ID が含まれます。

### 内容

#### JobCompletionReportURI

ジョブ完了レポート URL がある Amazon S3 署名付きへのリンク。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### JobFailureLogURI

ジョブ障害ログ URL がある Amazon S3 署名付きへのリンク。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### JobSuccessLogURI

ジョブ成功ログURLがある Amazon S3 署名付きへのリンク。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## JobMetadata

サービス : AWS Snowball Edge

特定のジョブについて、配送情報、ジョブステータス、他の重要メタデータといった情報が含まれています。この情報は、DescribeJob アクションのレスポンス構文の一部として返されます。

### 内容

#### AddressId

Snow デバイスの配送先住所の ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

#### ClusterId

クラスターの 39 文字の ID。たとえば CID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000 など。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### CreationDate

このジョブの作成日。

型: タイムスタンプ

必須 : いいえ

#### DataTransferProgress

Snow デバイスのデータ転送のリアルタイムステータスを定義する値 (Snow デバイスが AWS にあるとき)。このデータを利用できるのは、インポートジョブおよびエクスポートジョブの JobState の値が InProgress である場合のみです。

型: [DataTransfer](#) オブジェクト

必須: いいえ

#### Description

ジョブ作成時に提供されるジョブの説明。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### DeviceConfiguration

SnowconeDeviceConfiguration のコンテナ。

型: [DeviceConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

#### ForwardingAddressId

このフィールドは、お住まいのリージョンではサポートされていません。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: ADID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

#### ImpactLevel

ジョブの作成時に提供される、デバイスで保存または処理されるデータの最も大きい影響レベル。

型: 文字列

有効な値: IL2 | IL4 | IL5 | IL6 | IL99

必須: いいえ

## JobId

ジョブに対して自動生成された ID。たとえば、JID123e4567-e89b-12d3-a456-426655440000。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## JobLogInfo

ジョブレポートとログURLs用に署名された Amazon S3 へのリンク。インポートジョブの場合、PDFジョブレポートはインポートプロセスの最後に利用可能になります。エクスポートジョブの場合、ジョブレポートは通常、ジョブパート用の Snow デバイスがお客様に配送されている間に使用できるようになります。

型: [JobLogs](#) オブジェクト

必須: いいえ

## JobState

ジョブの現在のステータス。

型: 文字列

有効な値: New | PreparingAppliance | PreparingShipment | InTransitToCustomer | WithCustomer | InTransitToAWS | WithAWSSortingFacility | WithAWS | InProgress | Complete | Cancelled | Listing | Pending

必須: いいえ

## JobType

ジョブのタイプ。

型: 文字列

有効な値: IMPORT | EXPORT | LOCAL\_USE

必須: いいえ

### KmsKeyARN

このジョブに関連付けられた (ARN) キーの Amazon リソースネーム AWS Key Management Service (AWS KMS)。これは、の [CreateKey](#) API アクションを使用して作成された AWS KMS ARN でした。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:kms:.*:[0-9]{12}:key/.*`

必須: いいえ

### LongTermPricingId

デバイスの長期価格タイプの ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 41 です。

パターン: `LTPID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}`

必須: いいえ

### Notification

特定のジョブに関連付けられた Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) 通知設定。Notification オブジェクトは、DescribeJob アクションのレスポンス構文の一部として JobMetadata データ型で返されます。

型: [Notification](#) オブジェクト

必須: いいえ

### OnDeviceServiceConfiguration

AWS Snow Family デバイス上のサービスのメタデータと設定を表します。

型: [OnDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須：いいえ

## PickupDetails

デバイスを受け取る人を識別する情報。

型: [PickupDetails](#) オブジェクト

必須：いいえ

## RemoteManagement

Snowcone デバイスを内部ネットワークの外部からリモートで安全に操作および管理できます。INSTALLED\_AUTOSTART に設定した場合は、デバイスがお客様の場所に到着すると、リモート管理が自動的に利用できるようになります。それ以外の場合は、Snowball Client を使用してデバイスを管理する必要があります。

型: 文字列

有効な値: INSTALLED\_ONLY | INSTALLED\_AUTOSTART | NOT\_INSTALLED

必須：いいえ

## Resources

S3Resource オブジェクトの配列。各 S3Resource オブジェクトは、転送されたデータのエクスポート元またはインポート先となる Amazon S3 バケットを表します。

型: [JobResource](#) オブジェクト

必須：いいえ

## RoleARN

このジョブARNに関連付けられたロール。これは、の [CreateRole](#) API アクションを使用して作成された AWS Identity and Access Management。

型: 文字列

長さの制限：最大長は 255 です。

パターン: arn:aws.\*:iam::[0-9]{12}:role/.\*

必須: いいえ

## ShippingDetails

インバウンドとアウトバウンドの追跡番号、配送スピードオプションなど、ジョブの配送情報。

型: [ShippingDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

## SnowballCapacityPreference

ジョブ作成時に指定された、このジョブに対する Snow デバイスの容量の優先設定。米国リージョンでは、50~80 TB の Snowball を選択できます。その他のすべてのリージョンでは、80 TB の容量の Snowball が使用されます。

Snow ファミリーデバイスの種類については、Snowcone ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)または Snowball Edge ユーザーガイドの[Snow ファミリーのデバイスと容量](#)を参照してください。

型: 文字列

有効な値: T50 | T80 | T100 | T42 | T98 | T8 | T14 | T32 | NoPreference | T240 | T13

必須: いいえ

## SnowballId

デバイスに関連付けられた固有の ID。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## SnowballType

このジョブで使用されるデバイスのタイプ。

型: 文字列

有効な値: STANDARD | EDGE | EDGE\_C | EDGE\_CG | EDGE\_S | SNC1\_HDD | SNC1\_SSD | V3\_5C | V3\_5S | RACK\_5U\_C

必須: いいえ

## TaxDocuments

で必要な税金ドキュメントに関連付けられたメタデータ AWS リージョン。

型: [TaxDocuments](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## JobResource

サービス : AWS Snowball Edge

AWS リソースオブジェクトの配列が含まれます。各オブジェクトEC2は、特定のジョブに関連付けられている Amazon に基づく Amazon S3 バケット、AWS Lambda 関数、または Amazon マシンイメージ (AMI) を表します。

### 内容

#### Ec2AmiResources

このジョブに関連付けられている Amazon マシンイメージ (AMIs) 。

型: [Ec2AmiResource](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

#### LambdaResources

このジョブに対するPython 言語の Lambda 関数。

型: [LambdaResource](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

#### S3Resources

S3Resource オブジェクトの配列。

型: [S3Resource](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# KeyRange

サービス : AWS Snowball Edge

キー範囲が含まれます。エクスポートジョブの場合、S3Resource オブジェクトには任意で KeyRange 値を指定できます。範囲の長さはジョブ作成時に定義され、BeginMarker が EndMarker を包括する値、または両方が指定されます。範囲は UTF-8 バイナリソートされます。

## 内容

### BeginMarker

エクスポートジョブに対する任意のキー範囲を開始するキー。範囲は包含され、UTF-8 バイナリソートされます。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

### EndMarker

エクスポートジョブに対する任意のキー範囲を終了するキー。範囲は包含され、UTF-8 バイナリソートされます。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかが API でこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)

- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# LambdaResource

サービス : AWS Snowball Edge

識別子

内容

EventTriggers

このジョブに関連付けられた[S3Resource](#)オブジェクトをトリガーする[LambdaResource](#)オブジェクトARNsの配列。

型: [EventTriggerDefinition](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

LambdaArn

関連付けられたローカル Amazon S3 リソースのPUTオブジェクトアクションによってトリガーされる AWS Lambda 関数を表す Amazon リソース名前 (ARN )。 Amazon S3

型: 文字列

長さの制限 : 最大長は 255 です。

パターン: arn:aws.\*:\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## LongTermPricingListEntry

サービス : AWS Snowball Edge

各 LongTermPricingListEntry オブジェクトには、長期価格タイプに関する情報が含まれています。

### 内容

#### CurrentActiveJob

デバイス上で現在アクティブなジョブ (長期価格タイプ)。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

パターン: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

#### IsLongTermPricingAutoRenew

true に設定されている場合、長期価格契約の有効期限が切れる前に、デバイスの現在の長期価格タイプが自動的に更新されるように指定します。

型: ブール値

必須 : いいえ

#### JobIds

長期料金タイプに関連付けられているジョブIDsの。

型: 文字列の配列

長さの制限: 固定長は 39 です。

パターン: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

## LongTermPricingEndDate

長期価格契約の終了日。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

## LongTermPricingId

デバイスの長期価格タイプの ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 41 です。

パターン: LTPID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

## LongTermPricingStartDate

長期価格契約の開始日。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

## LongTermPricingStatus

長期価格タイプのステータス。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

## LongTermPricingType

デバイスに対して選択された長期価格のタイプ。

型: 文字列

有効な値: OneYear | ThreeYear | OneMonth

必須: いいえ

### ReplacementJob

長期価格で注文されたデバイスを置き換える新しいデバイス。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 39 です。

パターン: (M|J)ID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

### SnowballType

この長期価格設定ジョブに関連付けられた Snow ファミリーデバイスのタイプ。

型: 文字列

有効な値: STANDARD | EDGE | EDGE\_C | EDGE\_CG | EDGE\_S | SNC1\_HDD | SNC1\_SSD | V3\_5C | V3\_5S | RACK\_5U\_C

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# NFSOnDeviceServiceConfiguration

サービス : AWS Snowball Edge

AWS Snow Family デバイスの NFS (ネットワークファイルシステム) サービスのメタデータと設定を表すオブジェクト。

## 内容

### StorageLimit

Snow Family デバイスの最大NFSストレージ。

型: 整数

値の範囲: 最小値 は 0 です。

必須 : いいえ

### StorageUnit

デバイス上のNFSストレージのスケール単位。

有効な値: TB

型: 文字列

有効な値: TB

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## Notification

サービス : AWS Snowball Edge

特定のジョブに関連付けられた Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) 通知設定。Notification オブジェクトは、DescribeJob アクションのレスポンス構文の一部として JobMetadata データ型で返されます。

ジョブの作成中に通知設定が定義されている場合は、文字列の JobStatesToNotify 配列を使用して特定のジョブ状態セットに基づいて通知するか、True NotifyAll に設定されているすべてのジョブ状態に対して Amazon SNS 通知を送信するように指定できます。

### 内容

#### DevicePickupSnsTopicARN

デバイスを受け取る人 (ジョブの作成時に識別) SNS に通知を送信するために使用されます。

型: 文字列

長さの制限 : 最大長は 255 です。

パターン: `arn:aws.*:sns:.*:[0-9]{12}:.*`

必須: いいえ

#### JobStatesToNotify

このジョブに対して通知をトリガーするジョブ状態のリスト。

型: 文字列の配列

有効な値: `New | PreparingAppliance | PreparingShipment | InTransitToCustomer | WithCustomer | InTransitToAWS | WithAWSSortingFacility | WithAWS | InProgress | Complete | Cancelled | Listing | Pending`

必須 : いいえ

#### NotifyAll

ジョブの状態が変更されると、このジョブの通知がトリガーされます。

型: ブール値

必須: いいえ

## SnsTopicARN

このジョブSnsTopicArnに関連付ける新しい。Amazon SNSAPIアクションを使用して、トピックの [CreateTopic](#) Amazon リソースネーム (ARNs) を作成できます。

E メールアドレスを Amazon SNSトピックにサブスクライブするには AWS マネジメントコンソール、または Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) [のサブスクライブ](#) APIアクションを使用します。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

パターン: arn:aws.\*:sns:.\*:[0-9]{12}:.\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## OnDeviceServiceConfiguration

サービス : AWS Snowball Edge

AWS Snow ファミリーデバイスのサービスのメタデータおよび構成設定を表すオブジェクト。

### 内容

#### EKSONDeviceService

Snow Family デバイス上の EKS Anywhere の設定。

型: [EKSONDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須 : いいえ

#### NFSOnDeviceService

Snow Family デバイスの NFS (ネットワークファイルシステム) サービスを表します。

型: [NFSOnDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須 : いいえ

#### S3OnDeviceService

Snow ファミリーデバイスの Amazon S3 互換ストレージの構成。

型: [S3OnDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須 : いいえ

#### TGWOnDeviceService

Snow ファミリーデバイスの Storage Gateway サービスのテープゲートウェイタイプを表します。

型: [TGWOnDeviceServiceConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## PickupDetails

サービス : AWS Snowball Edge

デバイスを受け取る人を識別する情報。

### 内容

#### DevicePickupId

受け取るデバイスの固有 ID。

型: 文字列

長さの制限: 固定長は 40 です。

パターン: DPID[0-9a-f]{8}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{4}-[0-9a-f]{12}

必須: いいえ

#### Email

デバイスを受け取る人の E メールアドレス。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 3 です。最大長は 320 です。

パターン: ^(?=.{3,100}\$).+@[.].+\$

必須: いいえ

#### IdentificationExpirationDate

デバイスを受け取る人を識別する認証情報の有効期限。

型: タイムスタンプ

必須 : いいえ

#### IdentificationIssuingOrg

デバイスを受け取る人を識別する認証情報を発行した組織。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### IdentificationNumber

デバイスを受け取る人を識別する認証情報の番号。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### Name

デバイスを受け取る人の名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### PhoneNumber

デバイスを受け取る人の電話番号。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 7 です。最大長は 30 です。

パターン: `^\s*(?:\+?(\d{1,3}))?[-. (]*(\d{3})[-. )]*(\d{3})[-. ]*(\d{4})  
(?: *x(\d+))?\s*$`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## S3OnDeviceServiceConfiguration

サービス : AWS Snowball Edge

Snow ファミリーデバイスの Amazon S3 互換ストレージの設定項目。

### 内容

#### FaultTolerance

> クラスターの耐障害性レベル。これは、クラスターのパフォーマンスを低下させることなく削減できるノードの数を示します。この追加入力は、指定された StorageLimit が Snow ファミリーデバイスのサービス設定の複数の Amazon S3 互換ストレージと一致する場合に役立ちます。

型: 整数

有効範囲: 最小値は 1 です。最大値は 4 です。

必須: いいえ

#### ServiceSize

クラスターの作成時に適用されます。Snow ファミリーデバイスの Amazon S3 互換ストレージに必要なノード数を指定します。指定した場合、他の入力は省略できます。

型: 整数

有効範囲: 最小値は 1 です。最大値は 16 です。

必須: いいえ

#### StorageLimit

指定したストレージ制限値が、定義済みの設定のいずれかのストレージ制限と一致する場合、その設定が使用されます。指定したストレージ制限値が定義済みのどの設定とも一致しない場合、リクエストは失敗します。複数の設定に指定した値と同じストレージ制限がある場合は、他の情報を入力する必要があります。

型: 倍精度

値の範囲: 最小値は 0.0 です。

必須: いいえ

## StorageUnit

ストレージの単位。現在サポートされている単位は TB のみです。

型: 文字列

有効な値: TB

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## S3Resource

サービス : AWS Snowball Edge

各 S3Resource オブジェクトは、転送されたデータのエクスポート元またはインポート先となる Amazon S3 バケットを表します。エクスポートジョブの場合、このオブジェクトには任意で KeyRange 値を指定できます。範囲の長さはジョブ作成時に定義され、BeginMarker が EndMarker を包括する値、または両方が指定されます。範囲は UTF-8 バイナリソートされます。

### 内容

#### BucketArn

Amazon S3 バケットの Amazon リソースネーム (ARN) 。

型: 文字列

長さの制限 : 最大長は 255 です。

パターン: arn:aws.\*:\*

必須: いいえ

#### KeyRange

エクスポートジョブの場合は、特定の Amazon S3 バケット内で任意で KeyRange を指定できます。範囲の長さはジョブ作成時に定義され、BeginMarker が EndMarker を包括する値、または両方が指定されます。範囲は UTF-8 バイナリソートされます。

型: [KeyRange](#) オブジェクト

必須 : いいえ

#### TargetOnDeviceServices

転送されたデータをエクスポートまたはインポートする Snow Family デバイスのサービスを指定します。AWS Snow Family は Amazon S3 と NFS (ネットワークファイルシステム) をサポートしています。

型: [TargetOnDeviceService](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ServiceVersion

サービス : AWS Snowball Edge

リクエストされたサービスのバージョン。

### 内容

#### Version

リクエストされたサービスのバージョン番号。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## Shipment

サービス : AWS Snowball Edge

インバウンドまたはアウトバウンド配送に関する Status と TrackingNumber の情報。

### 内容

#### Status

配送のステータス情報。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

#### TrackingNumber

このジョブの追跡番号。お住まいの地域の配送業者のウェブサイトでの追跡番号を使用すると、運送業者が輸送する際にSnowデバイスを追跡できます。

インドの場合、配送業者はAmazon Logistics です。他のすべてのリージョンでは、UPS はキャリアです。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 1,024 です。

パターン: .\*

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)

- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ShippingDetails

サービス : AWS Snowball Edge

インバウンドとアウトバウンドの追跡番号、配送スピードオプションなど、ジョブの配送情報。

### 内容

#### InboundShipment

AWS 特定のジョブに対して に返される Snow デバイスの Status および TrackingNumber 値。

型: [Shipment](#) オブジェクト

必須 : いいえ

#### OutboundShipment

特定のジョブに指定した住所に配送される Snow デバイスの Status と TrackingNumber の値。

型: [Shipment](#) オブジェクト

必須 : いいえ

#### ShippingOption

特定のジョブの配送速度。この速度は、ジョブの作成日から Snow デバイスをどれくらい早く入手できるかを決定するわけではありません。この速度は、転送中の目的地への移動速度を表します。リージョンの配送速度は次のとおりです。

- オーストラリアでは、至急便を利用できます。通常、至急便で発送された Snow デバイスは約 1 日で配送されます。
- 欧州連合 (EU) では、至急便を利用できます。通常、至急便で発送された Snow デバイスは約 1 日で配送されます。また、EU のほとんどの国で通常便も利用できます。こちらは通常片道 1 週間以内です。
- インドでは、Snow デバイスが 1~7 日で配送されます。
- アメリカ合衆国 (米国) では、翌日配送と翌々日配送を利用できます。

型: 文字列

有効な値: SECOND\_DAY | NEXT\_DAY | EXPRESS | STANDARD

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# SnowconeDeviceConfiguration

サービス : AWS Snowball Edge

AWS Snowball Edge ジョブのデバイス設定を指定します。

## 内容

### WirelessConnection

Snowcone デバイスのワイヤレス接続を設定します。

型: [WirelessConnection](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# TargetOnDeviceService

サービス : AWS Snowball Edge

転送されたデータがエクスポートまたはインポートされる Snow Family デバイスのサービスを表すオブジェクト。AWS Snow Family は Amazon S3 と NFS (ネットワークファイルシステム) をサポートしています。

## 内容

### ServiceName

転送したデータのエクスポート元またはインポート先となる Snow ファミリーデバイス上のサービスの名前を指定します。

型: 文字列

有効な値: NFS\_ON\_DEVICE\_SERVICE | S3\_ON\_DEVICE\_SERVICE

必須 : いいえ

### TransferOption

データをインポートするか、エクスポートするかを指定します。データをインポートまたはエクスポートするか、デバイス上でローカルで使用できます。

型: 文字列

有効な値: IMPORT | EXPORT | LOCAL\_USE

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# TaxDocuments

サービス : AWS Snowball Edge

に必要な税金ドキュメント AWS リージョン。

## 内容

### IND

インド AWS リージョン でに必要な税金書類。

型: [INDTaxDocuments](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# TGWOnDeviceServiceConfiguration

サービス : AWS Snowball Edge

AWS Snow Family デバイスの Storage Gateway サービスステープゲートウェイタイプのメタデータと設定を表すオブジェクト。

## 内容

### StorageLimit

1 つの Snow ファミリーデバイスに保存する仮想テープの最大数。物理的なリソースの制限により、Snowball Edge の場合は、この値を 80 に設定する必要があります。

型: 整数

値の範囲: 最小値 は 0 です。

必須 : いいえ

### StorageUnit

デバイス上の仮想テープのスケール単位。

型: 文字列

有効な値: TB

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれか API でこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## WirelessConnection

サービス : AWS Snowball Edge

AWS Snowball Edge デバイス上のワイヤレス接続を設定します。

### 内容

IsWifiEnabled

AWS Snowball Edge デバイスで Wi-Fi アダプターを有効にします。

型: ブール値

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## AWS Snowball Edge Device Management

AWS Snowball Edge Device Management によって以下のデータ型がサポートされています。

- [Capacity](#)
- [Command](#)
- [CpuOptions](#)
- [DeviceSummary](#)
- [EbsInstanceBlockDevice](#)
- [ExecutionSummary](#)
- [Instance](#)
- [InstanceBlockDeviceMapping](#)

- [InstanceState](#)
- [InstanceSummary](#)
- [PhysicalNetworkInterface](#)
- [Reboot](#)
- [ResourceSummary](#)
- [SecurityGroupIdentifier](#)
- [SoftwareInformation](#)
- [TaskSummary](#)
- [Unlock](#)

## Capacity

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

AWS Snow Family デバイスの物理容量。

### 内容

#### available

デバイスで使用できる容量。

型: Long

必須 : いいえ

#### name

メモリなど、容量のタイプの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 0 です。最大長は 100 です。

必須 : いいえ

#### total

デバイスの総容量。

型: Long

必須 : いいえ

#### unit

容量の種類測定単位。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 0 です。最大長は 20 です。

必須 : いいえ

#### used

デバイスで使用されている容量。

型: Long

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## Command

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

実行するデバイスに与えられるコマンド。

### 内容

#### Important

このデータ型は `Union` であるため UNION、使用または返されたときに指定できるメンバーは、次のいずれかのみです。

### reboot

デバイスを再起動します。

型: [Reboot](#) オブジェクト

必須 : いいえ

### unlock

デバイスのロックを解除します。

型: [Unlock](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれか API でこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# CpuOptions

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスCPUの設定方法のオプション。

## 内容

### coreCount

で利用できるコアの数CPU。

タイプ: 整数

必須 : いいえ

### threadsPerCore

のコアあたりのスレッド数CPU。

タイプ: 整数

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## DeviceSummary

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスに関する情報を特定します。

### 内容

#### associatedWithJob

デバイスを注文するために使用するジョブの ID。

型: 文字列

必須: いいえ

#### managedDeviceArn

デバイスの Amazon リソースネーム (ARN) 。

型: 文字列

必須: いいえ

#### managedDeviceId

デバイスの ID。

型: 文字列

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : いいえ

#### tags

リソースに割り当てるオプションのメタデータ。タグを使用し、目的、所有者、環境などのさまざまな方法でリソースを分類できます。

型: 文字列間のマッピング

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれか API でこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## EbsInstanceBlockDevice

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

ブロックデバイスマッピングで Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) ボリュームを設定するために使用されるパラメータについて説明します。

### 内容

#### attachTime

添付が開始された日時。

型: タイムスタンプ

必須 : いいえ

#### deleteOnTermination

インスタンス終了時にボリュームが削除されるかどうかを示す値です。

型: ブール値

必須 : いいえ

#### status

添付の状態。

型: 文字列

有効な値: ATTACHING | ATTACHED | DETACHING | DETACHED

必須 : いいえ

#### volumeld

Amazon EBSボリュームの ID。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ExecutionSummary

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

指定されたデバイスでのタスク実行のサマリー。

### 内容

#### executionId

実行のID。

型: 文字列

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : いいえ

#### managedDeviceId

タスクが実行されている管理対象デバイスの ID。

型: 文字列

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : いいえ

#### state

実行の状態。

型: 文字列

有効な値: QUEUED | IN\_PROGRESS | CANCELED | FAILED | SUCCEEDED | REJECTED  
| TIMED\_OUT

必須 : いいえ

#### taskId

タスクの ID。

型: 文字列

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須：いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## Instance

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

インスタンスの説明。現在、Amazon EC2インスタンスのみがサポートされているインスタンスタイプです。

### 内容

#### amiLaunchIndex

Amazon Machine Image (AMI) 起動インデックス。起動グループでこのインスタンスを検索するために使用できます。

タイプ: 整数

必須 : いいえ

#### blockDeviceMappings

インスタンスのブロックデバイスマッピングのエントリ。

型: [InstanceBlockDeviceMapping](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

#### cpuOptions

インスタンスCPUのオプション。

型: [CpuOptions](#) オブジェクト

必須 : いいえ

#### createdAt

インスタンスが作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須 : いいえ

#### imageId

インスタンスの起動AMIに使用される の ID。

型: 文字列

必須: いいえ

instanceId

インスタンスの ID。

型: 文字列

必須: いいえ

instanceType

インスタンスタイプ。

型: 文字列

必須: いいえ

privateIpAddress

インスタンスに割り当てられたプライベートIPv4アドレス。

型: 文字列

必須: いいえ

publicIpAddress

インスタンスに割り当てられたパブリックIPv4アドレス。

型: 文字列

必須: いいえ

rootDeviceName

ルートデバイスボリュームのデバイス名 (例: /dev/sda1)。

型: 文字列

必須: いいえ

securityGroups

インスタンスのセキュリティグループ。

型: [SecurityGroupIdentifier](#) オブジェクトの配列

必須：いいえ

state

インスタンスの現在の状態の説明。

型: [InstanceState](#) オブジェクト

必須：いいえ

updatedAt

インスタンスが前回更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須：いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# InstanceBlockDeviceMapping

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

ブロックデバイスマッピングの説明。

## 内容

deviceName

ブロックデバイス名。

型: 文字列

必須: いいえ

ebs

インスタンスの起動時に Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) ボリュームを自動的にセットアップするために使用されるパラメータ。

型: [EbsInstanceBlockDevice](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## InstanceState

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

インスタンスの現在の状態の説明。

### 内容

#### code

16 ビットの符号なし整数としてのインスタンスの状態。

上位バイトは  $2^8 \sim (2^{16}) - 1$  の間のすべてのビットで、これは 10 進数の 256 ~ 65,535 に相当します。これらの数値は内部目的で使用され、無視する必要があります。

下位バイトは  $2^0$  と  $(2^8) - 1$  の間のすべてのビットで、これは 10 進数の 0 ~ 255 に相当します。

インスタンス状態コードの有効な値は、すべて下位バイトの範囲にあります。値は次のとおりです。

- 0 : pending
- 16 : running
- 32 : shutting-down
- 48 : terminated
- 64 : stopping
- 80 : stopped

$2^8$  または 256 を超えるすべてのビットを 10 進数でゼロにすることで、上位のバイト値を無視できます。

タイプ: 整数

必須 : いいえ

#### name

インスタンスの現在の状態。

型: 文字列

有効な値: PENDING | RUNNING | SHUTTING\_DOWN | TERMINATED | STOPPING | STOPPED

必須：いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## InstanceSummary

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

インスタンスに関する詳細。

### 内容

instance

インスタンスに関する詳細を含む構造。

型: [Instance](#) オブジェクト

必須 : いいえ

lastUpdatedAt

インスタンスサマリーが前回更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# PhysicalNetworkInterface

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスの物理ネットワークインターフェイスの詳細。

## 内容

### defaultGateway

デバイスのデフォルトゲートウェイ。

型: 文字列

必須: いいえ

### ipAddress

デバイスのIP アドレス。

型: 文字列

必須: いいえ

### ipAddressAssignment

IP アドレスが動的か永続的かを示す値。

型: 文字列

有効な値: DHCP | STATIC

必須 : いいえ

### macAddress

デバイスのMACアドレス。

型: 文字列

必須: いいえ

### netmask

IP アドレスをサブネットに分割するために使用されるネットマスク。

型: 文字列

必須: いいえ

### physicalConnectorType

物理コネクタのタイプ。

型: 文字列

有効な値: RJ45 | SFP\_PLUS | QSFP | RJ45\_2 | WIFI

必須: いいえ

### physicalNetworkInterfaceId

物理ネットワークインターフェイス ID。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# Reboot

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスを再起動するために使用する構造。

## 内容

この例外構造のメンバーは、コンテキストに依存します。

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## ResourceSummary

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスで使用可能なリソースのサマリー。

### 内容

#### resourceType

リソースタイプ。

型: 文字列

必須: はい

#### arn

リソースの Amazon リソースネーム (ARN) 。

型: 文字列

必須: いいえ

#### id

リソースの ID。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかが API でこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# SecurityGroupIdentifier

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスのセキュリティグループに関する情報。

## 内容

### groupId

セキュリティグループの ID。

型: 文字列

必須: いいえ

### groupName

セキュリティグループ名

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## SoftwareInformation

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイス上のソフトウェアに関する情報。

### 内容

#### installedVersion

デバイスに現在インストールされているソフトウェアのバージョン。

型: 文字列

必須: いいえ

#### installingVersion

デバイスにインストール中のソフトウェアのバージョン。

型: 文字列

必須: いいえ

#### installState

デバイスにインストールされている、またはデバイスにインストール中のソフトウェアの状態。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## TaskSummary

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

1 つまたは複数のデバイスに割り当てられているタスクに関する情報。

### 内容

#### taskId

タスク ID。

型: 文字列

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 64 文字です。

必須 : はい

#### state

1 つまたは複数のデバイスに割り当てられているタスクの状態。

型: 文字列

有効な値: IN\_PROGRESS | CANCELED | COMPLETED

必須 : いいえ

#### tags

リソースに割り当てるオプションのメタデータ。タグを使用し、目的、所有者、環境などのさまざまな方法でリソースを分類できます。

型: 文字列間のマッピング

必須 : いいえ

#### taskArn

タスクの Amazon リソースネーム (ARN) 。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

# Unlock

サービス : AWS Snowball Edge Device Management

デバイスのロックを解除するために使用される構造。

## 内容

この例外構造のメンバーは、コンテキストに依存します。

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Java V2 用](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用](#)

## 共通パラメータ

次のリストには、すべてのアクションが署名バージョン 4 リクエストにクエリ文字列で署名するために使用するパラメータを示します。アクション固有のパラメータは、アクションのトピックに示されています。Signature Version 4 の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS API リクエストの署名](#)」を参照してください。

### Action

実行するアクション。

型: 文字列

必須: はい

### Version

リクエストが想定している API バージョンである、YYYY-MM-DD 形式で表示されます。

型: 文字列

必須: はい

### X-Amz-Algorithm

リクエストの署名を作成するのに使用したハッシュアルゴリズム。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

有効な値: AWS4-HMAC-SHA256

必須: 条件による

### X-Amz-Credential

認証情報スコープの値で、アクセスキー、日付、対象とするリージョン、リクエストしているサービス、および終了文字列 ("aws4\_request") を含む文字列です。値は次の形式で表現されます。[access\_key/YYYYYYYYMMDD/リージョン/サービス/aws4\_request]

詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[署名付き AWS API リクエストの作成](#)」を参照してください。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

#### X-Amz-Date

署名を作成するときに使用する日付です。形式は ISO 8601 基本形式の YYYYMMDD'T'HHMMSS'Z' でなければなりません。例えば、日付 20120325T120000Z は、有効な X-Amz-Date の値です。

条件: X-Amz-Date はすべてのリクエストに対してオプションです。署名リクエストで使用する日付よりも優先される日付として使用できます。ISO 8601 ベーシック形式で日付ヘッダーが指定されている場合、X-Amz-Date は必要ありません。X-Amz-Date を使用すると、常に Date ヘッダーの値よりも優先されます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS API リクエスト署名の要素](#)」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

#### X-Amz-Security-Token

AWS Security Token Service (AWS STS) への呼び出しで取得された一時的なセキュリティトークン。AWS STS の一時的なセキュリティ認証情報をサポートするサービスのリストについては、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM と連携するAWS のサービス](#)」を参照してください。

条件: AWS STS の一時的なセキュリティ認証情報を使用する場合、セキュリティトークンを含める必要があります。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

#### X-Amz-Signature

署名する文字列と派生署名キーから計算された 16 進符号化署名を指定します。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

## X-Amz-SignedHeaders

正規リクエストの一部として含まれていたすべての HTTP ヘッダーを指定します。署名付きヘッダーの指定に関する詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[署名付き AWS API リクエストの作成](#)」を参照してください。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

## 共通エラー

このセクションでは、AWS のすべてのサービスの API アクションに共通のエラーを一覧表示しています。このサービスの API アクションに固有のエラーについては、その API アクションのトピックを参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 400

### IncompleteSignature

リクエストの署名が AWS 基準に適合しません。

HTTP ステータスコード: 400

### InternalFailure

リクエストの処理が、不明なエラー、例外、または障害により実行できませんでした。

HTTP ステータスコード: 500

### InvalidAction

リクエストされたアクション、またはオペレーションは無効です。アクションが正しく入力されていることを確認します。

HTTP ステータスコード: 400

### InvalidClientTokenId

指定された x.509 証明書、または AWS アクセスキー ID が見つかりません。

HTTP ステータスコード: 403

### NotAuthorized

このアクションを実行するにはアクセス許可が必要です。

HTTP ステータスコード: 400

### OptInRequired

サービスを利用するためには、AWS アクセスキー ID を取得する必要があります。

HTTP ステータスコード: 403

#### RequestExpired

リクエストの日付スタンプの 15 分以上後またはリクエストの有効期限 (署名付き URL の場合など) の 15 分以上後に、リクエストが到着しました。または、リクエストの日付スタンプが現在より 15 分以上先です。

HTTP ステータスコード: 400

#### ServiceUnavailable

リクエストは、サーバーの一時的障害のために実行に失敗しました。

HTTP ステータスコード: 503

#### ThrottlingException

リクエストは、制限が必要なために実行が拒否されました。

HTTP ステータスコード: 400

#### ValidationError

入力が、AWS サービスで指定された制約を満たしていません。

HTTP ステータスコード: 400

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。